

在宅介護実態調査の集計結果

～第9期介護保険事業計画の策定に向けて～



令和5年3月

<古河市>

目次

I 在宅介護実態調査の実施概要	[P. 1]
II 単純集計	[P. 2]
1 基本調査項目（A票）	[P. 2]
(1) 世帯類型	[P. 2]
(2) 家族等による介護の頻度	[P. 2]
(3) 主な介護者の年齢	[P. 3]
(4) 介護のための離職の有無	[P. 4]
(5) 施設等検討の状況	[P. 4]
2 主な介護者様用の調査項目（B票）	[P. 5]
(1) 主な介護者の勤務形態	[P. 5]
(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況	[P. 5]
(3) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識	[P. 6]
(4) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護	[P. 6]
3 要介護認定データ	[P. 7]
(1) 年齢	[P. 7]
(2) 性別	[P. 7]
(3) 二次判定結果（要介護度）	[P. 8]
(4) サービス利用の組み合わせ	[P. 8]
(5) 訪問系サービスの合計利用回数	[P. 9]
(6) 通所系サービスの合計利用回数	[P. 9]
(7) 短期系サービスの合計利用回数	[P. 10]
(8) 障害高齢者の日常生活自立度	[P. 10]
(9) 認知症高齢者の日常生活自立度	[P. 11]
III クロス集計	[P. 12]
1 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討	[P. 12]
(1) 基礎集計	[P. 12]
(2) 要介護度・認知症高齢者自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安に感じる介護」の変化	[P. 14]
(3) 要介護度・認知症高齢者自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化	[P. 16]
(4) 「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係	[P. 19]
(5) 「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係	[P. 21]

- (6) 「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」の関係 [P. 23]
- (7) 「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安に感じる介護」の関係 [P. 26]

2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討 [P. 32]

- (1) 基本集計 [P. 32]
- (2) 就労状況別の主な介護者が行っている介護と就労継続見込み [P. 34]
- (3) 「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安に感じる介護」と「就労継続見込み」の関係 [P. 36]
- (4) 「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係 [P. 37]
- (5) 就労状況別の保険外の支援・サービスの利用状況と施設等検討の状況 [P. 38]
- (6) 就労状況別の介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援 [P. 40]

3 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討 [P. 42]

- (1) 基礎集計 [P. 42]
- (2) 「要介護度別・世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」 [P. 43]
- (3) 「要介護度別・認知症高齢者自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」 [P. 45]
- (4) 「要介護度別・認知症高齢者自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」 [P. 48]

4 本人の年齢別・主な介護者の年齢 [P. 51]

IV 調査票 [P. 52]

I 在宅介護実態調査の実施概要

■調査方法：認定調査員による聞き取り調査

■調査期間：令和4年8月～令和5年2月（認定調査時に付随しての調査）

■回収票数：600票

■調査対象：調査期間内に要介護認定（要支援認定含む）を受けている者で、更新・区分変更申請に伴う認定調査を行った者のうち、在宅で生活している者

※調査日現在、施設等へ入所されている方、医療機関に入院されている方は対象外。施設とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、グループホーム、特定施設（有料老人ホーム等）を指す。

■調査票：厚生労働省の様式1在宅介護実態調査票

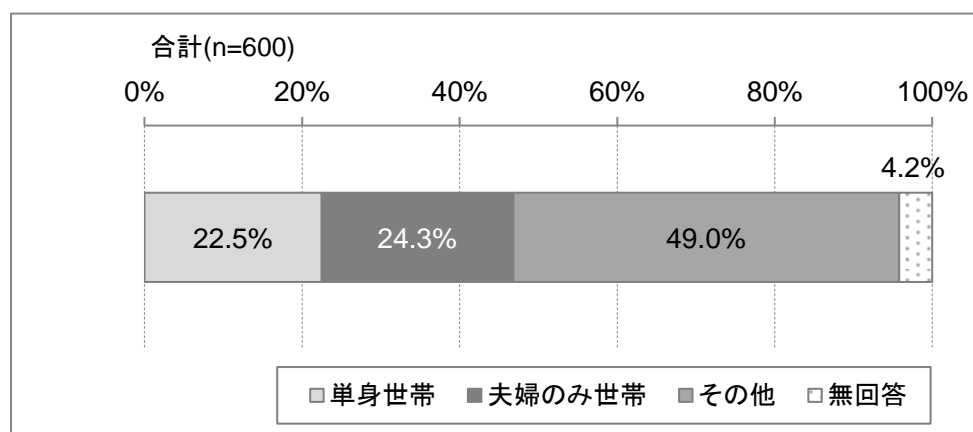
■集計内容：単純集計・クロス集計

Ⅱ 単純集計

1 基本調査項目（A票）

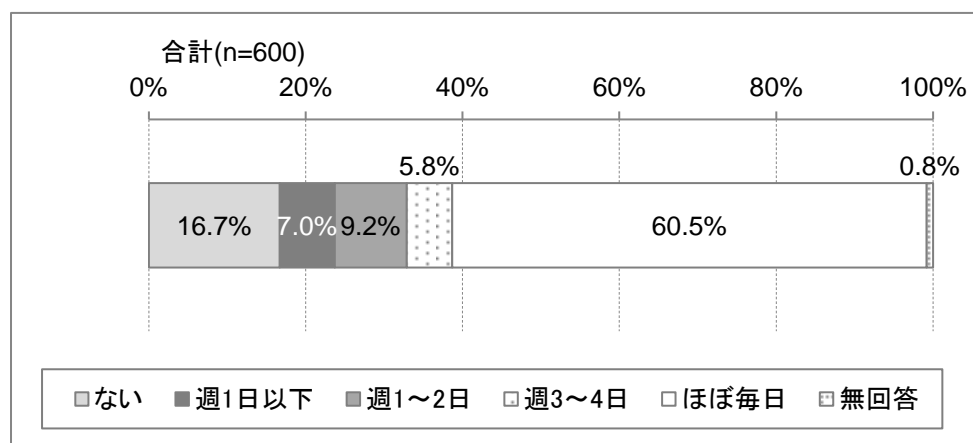
(1) 世帯類型（単数回答）

「その他」の割合が最も高く49.0%となっている。次いで、「夫婦のみ世帯（24.3%）」、「単身世帯（22.5%）」となっている。



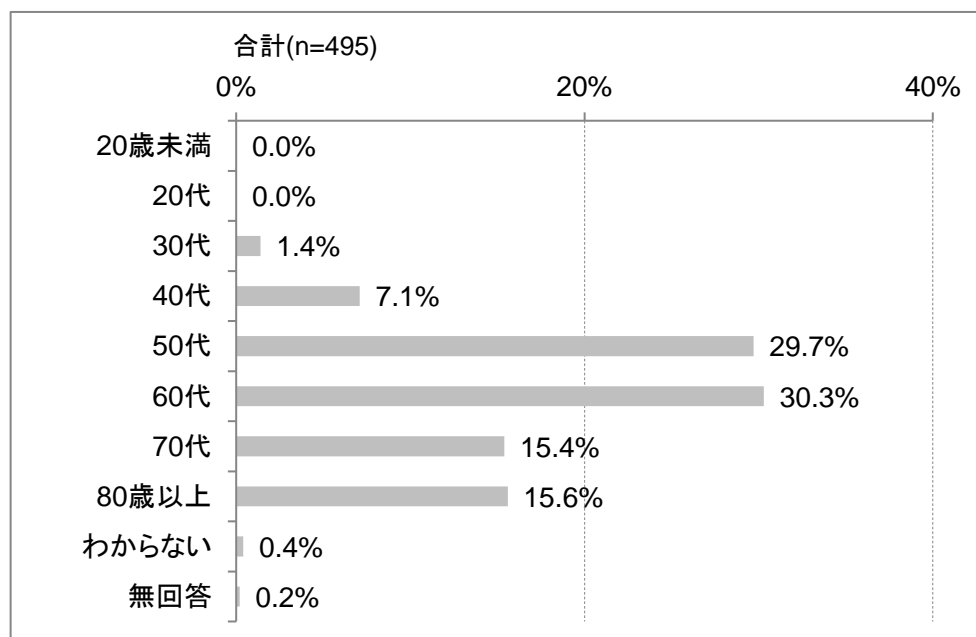
(2) 家族等による介護の頻度（単数回答）

「ほぼ毎日」の割合が最も高く60.5%となっている。次いで、「ない（16.7%）」、「週1～2日（9.2%）」となっている。



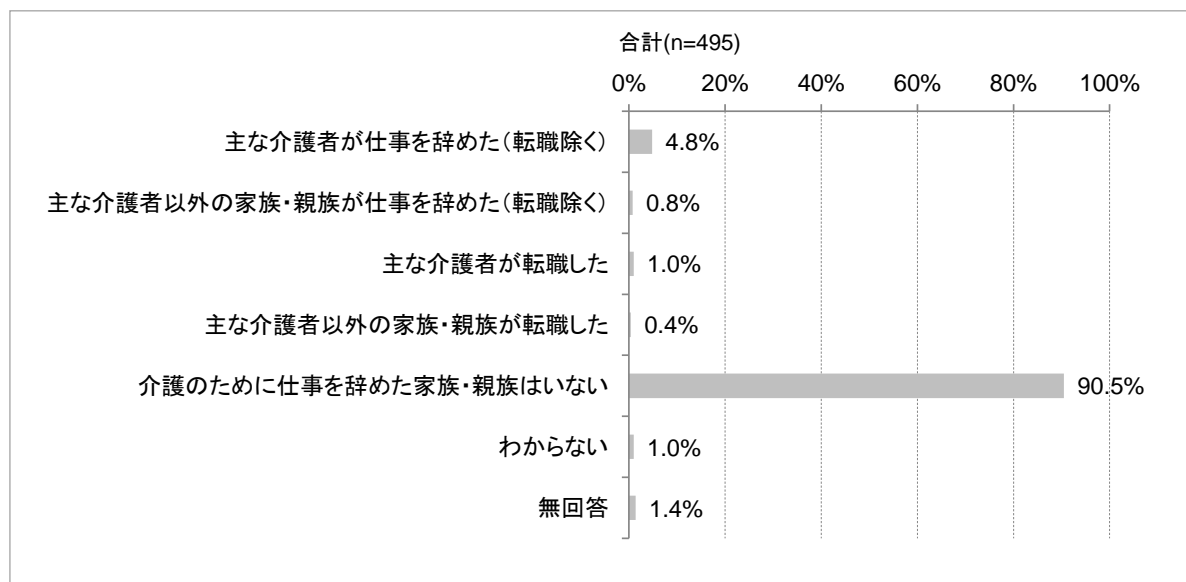
(3) 主な介護者の年齢（単数回答）

「60代」の割合が最も高く30.3%となっている。次いで、「50代（29.7%）」、「80歳以上（15.6%）」となっている。



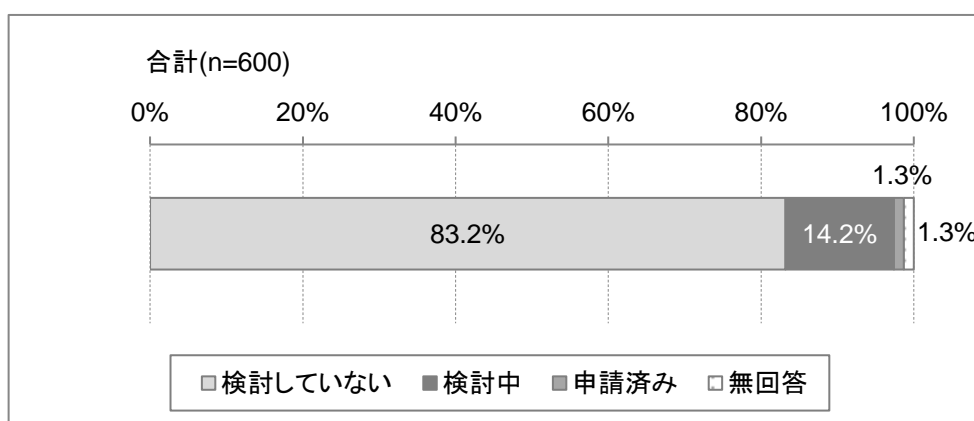
(4) 介護のための離職の有無（複数回答）

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が最も高く 90.5%となっている。次いで、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）（4.8%）」、「主な介護者が転職した（1.0%）」、「わからない（1.0%）」となっている。



(5) 施設等検討の状況（単数回答）

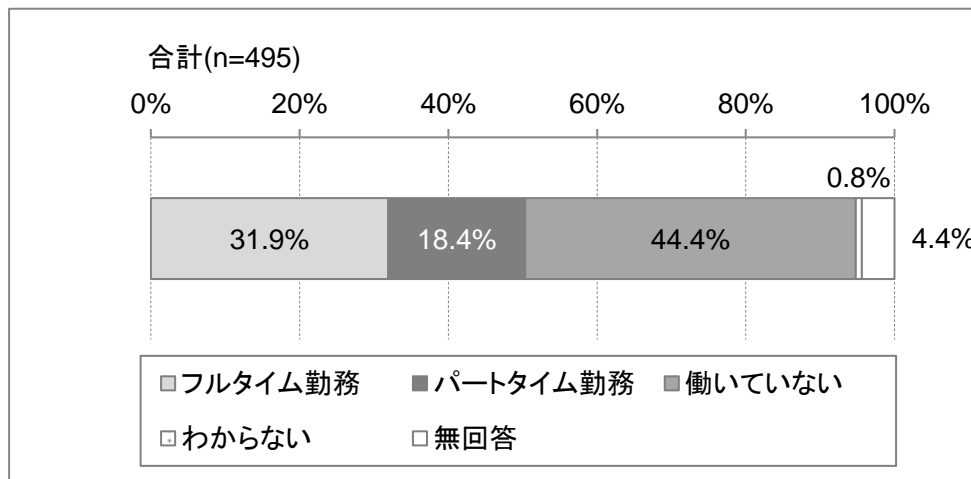
「検討していない」の割合が最も高く 83.2%となっている。次いで、「検討中（14.2%）」、「申請済み（1.3%）」となっている。



2 主な介護者様用の調査項目（B票）

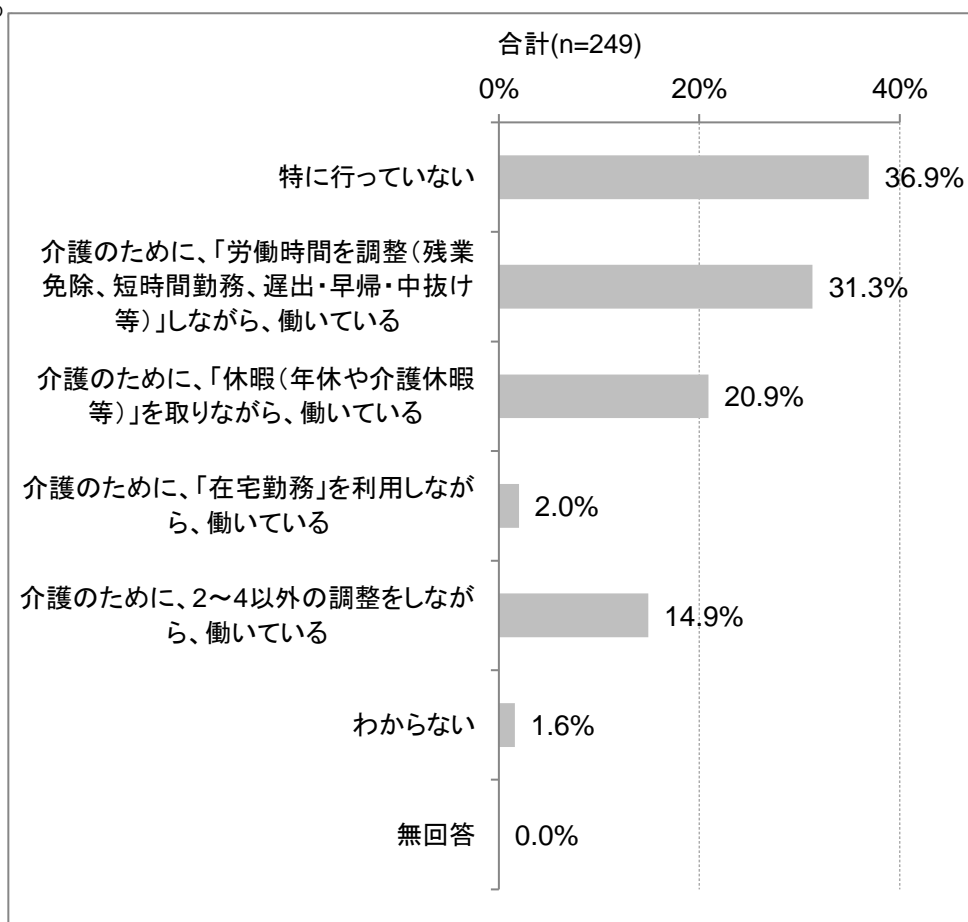
(1) 主な介護者の勤務形態（単数回答）

「働いていない」の割合が最も高く 44.4%となっている。次いで、「フルタイム勤務(31.9%)」、「パートタイム勤務(18.4%)」となっている。



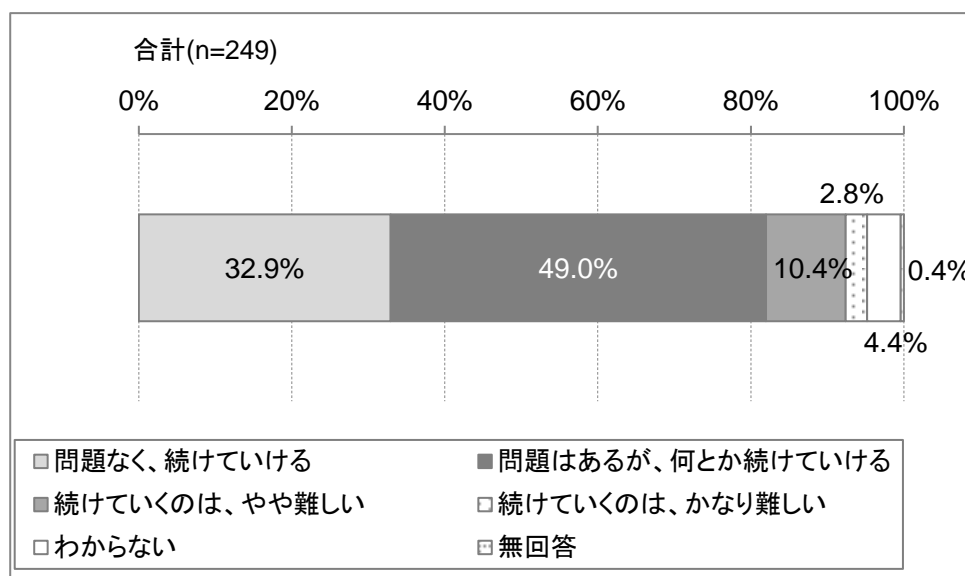
(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況（複数回答）

「特に行っていない」の割合が最も高く 36.9%となっている。次いで、「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている(31.3%)」、「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている(20.9%)」となっている。



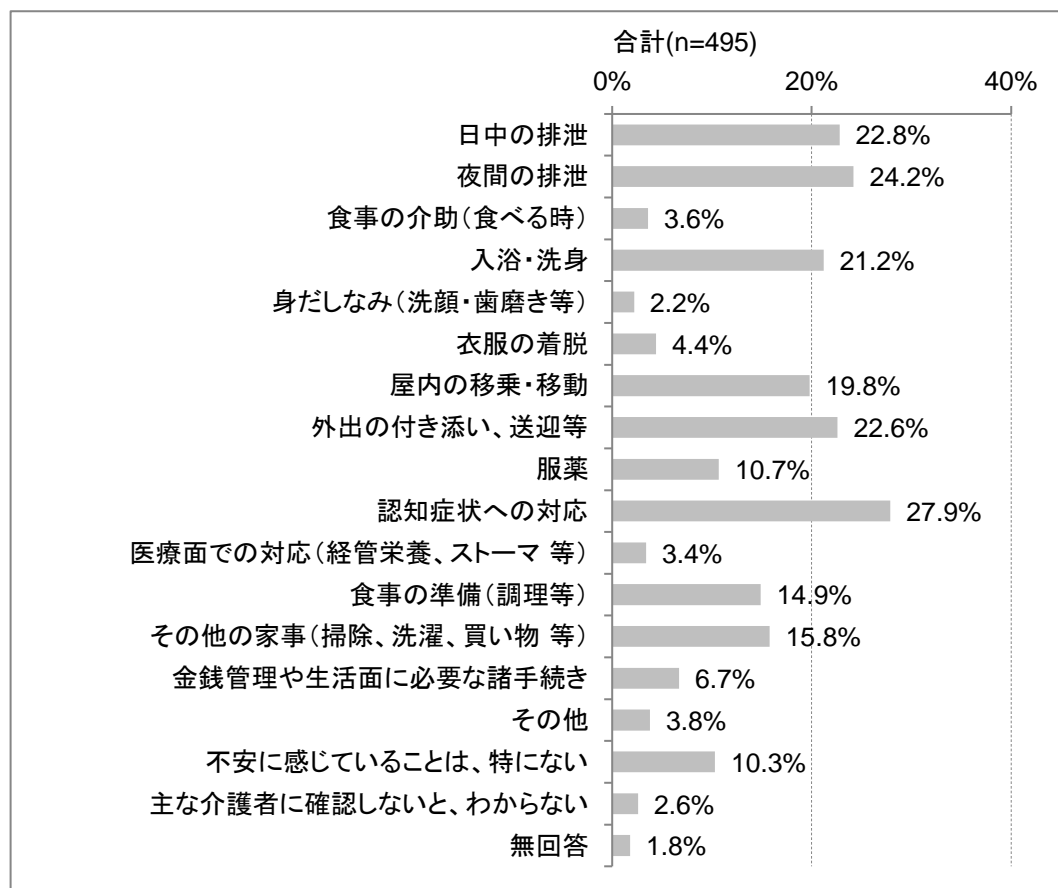
(3) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識（単数回答）

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が最も高く 49.0%となっている。次いで、「問題なく、続けていける（32.9%）」、「続けていくのは、やや難しい（10.4%）」となっている。



(4) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護（複数回答）

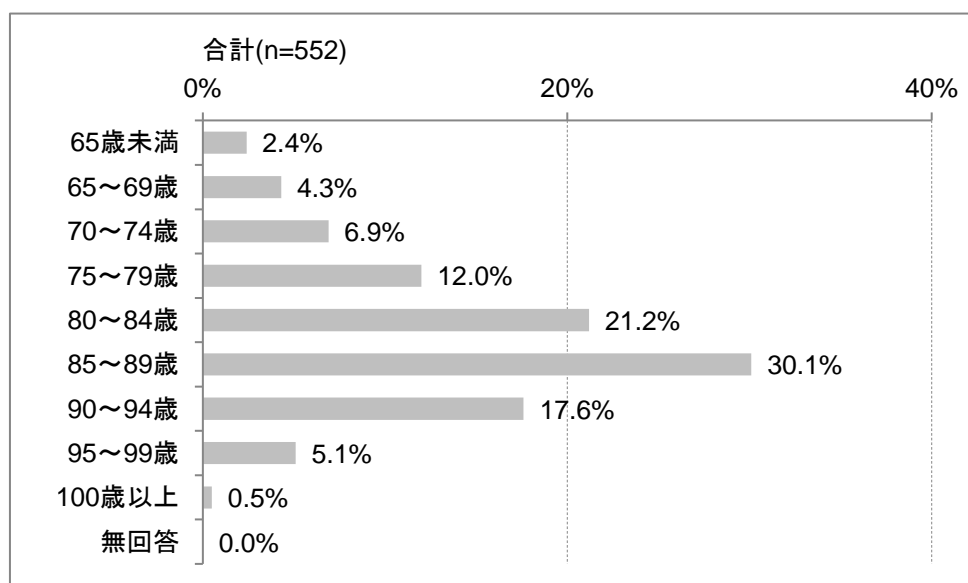
「認知症状への対応」の割合が最も高く 27.9%となっている。次いで、「夜間の排泄（24.2%）」、「日中の排泄（22.8%）」となっている。



3 要介護認定データ

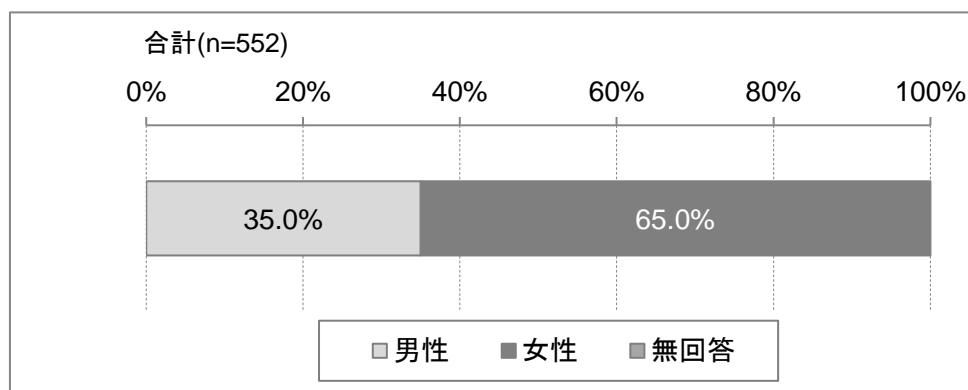
(1) 年齢

「85～89歳」の割合が最も高く 30.1%となっている。次いで、「80～84歳 (21.2%)」、「90～94歳 (17.6%)」となっている。



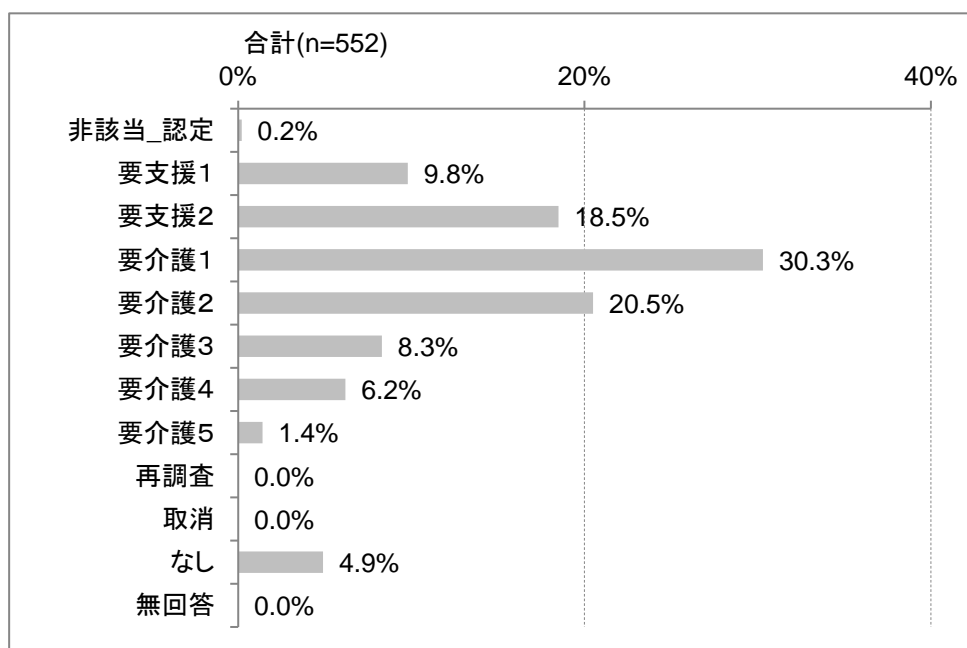
(2) 性別

「女性」の割合が最も高く 65.0%となっている。次いで、「男性 (35.0%)」となっている。



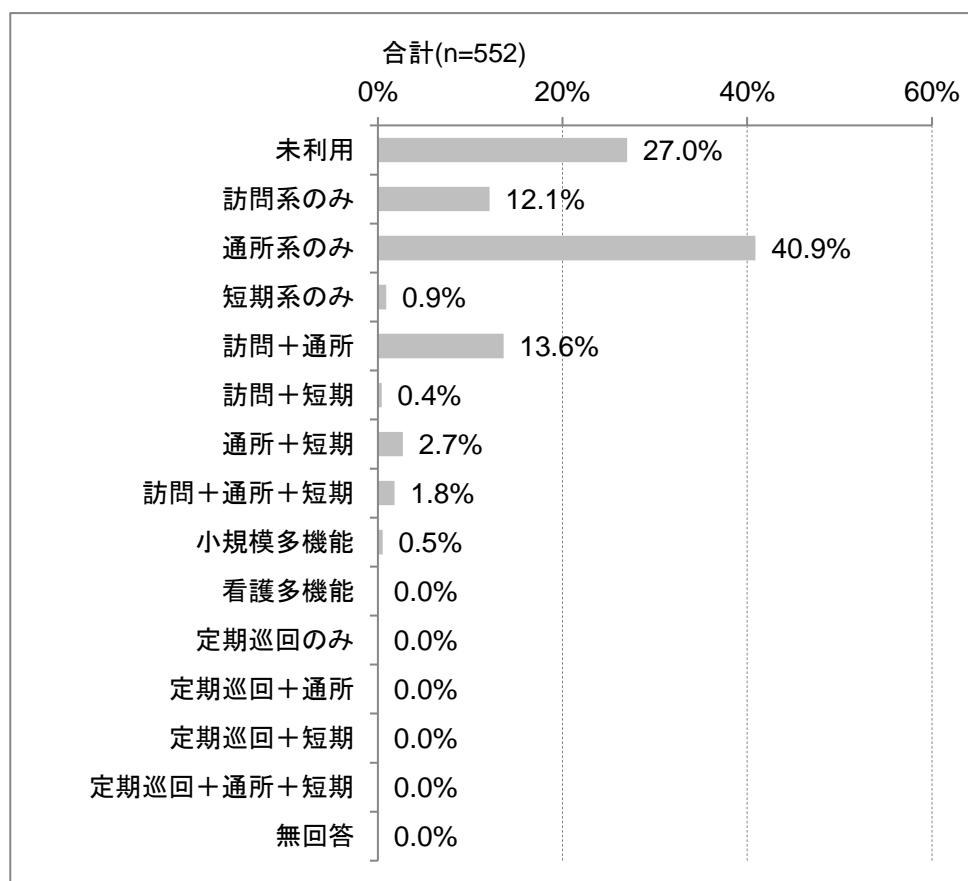
(3) 二次判定結果（要介護度）

「要介護1」の割合が最も高く 30.3%となっている。次いで、「要介護2（20.5%）」、「要支援2（18.5%）」となっている。



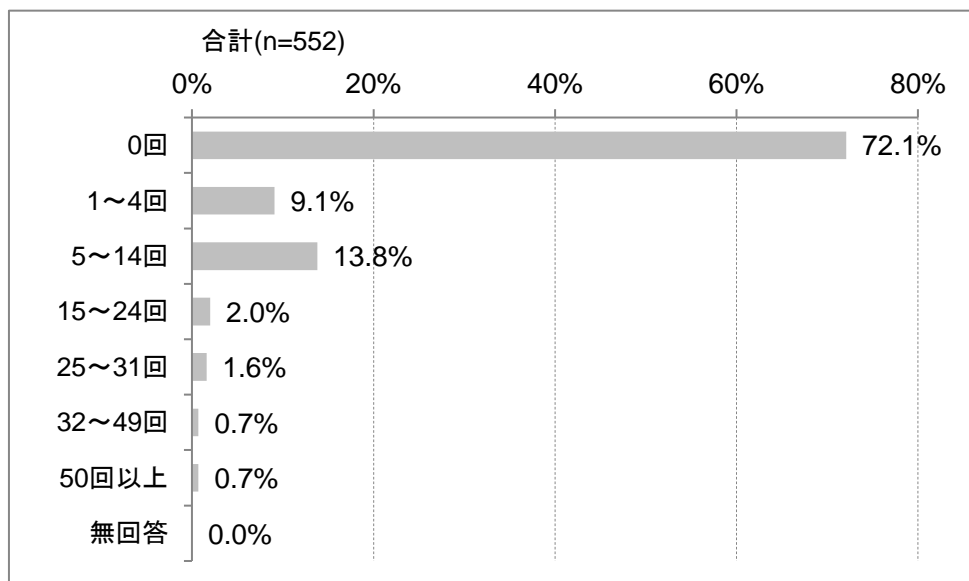
(4) サービス利用の組み合わせ

「通所系のみ」の割合が最も高く 40.9%となっている。次いで、「未利用（27.0%）」、「訪問+通所（13.6%）」となっている。



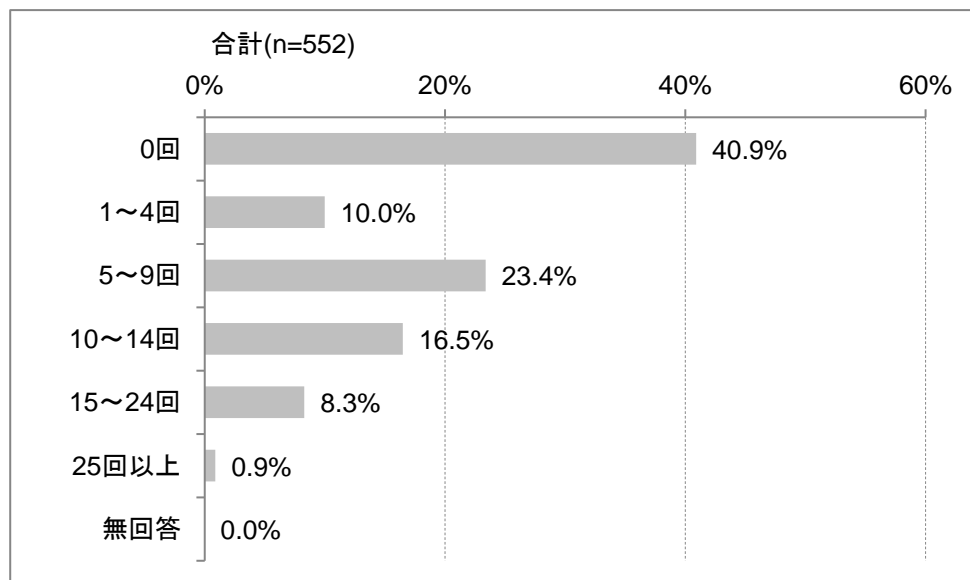
(5) 訪問系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く72.1%となっている。次いで、「5～14回(13.8%)」、「1～4回(9.1%)」となっている。



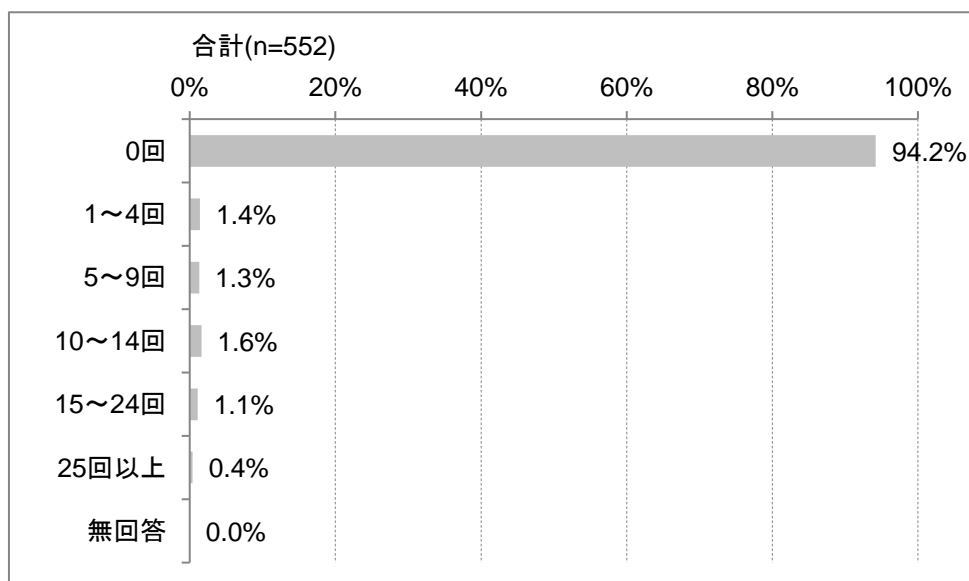
(6) 通所系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く40.9%となっている。次いで、「5～9回(23.4%)」、「10～14回(16.5%)」となっている。



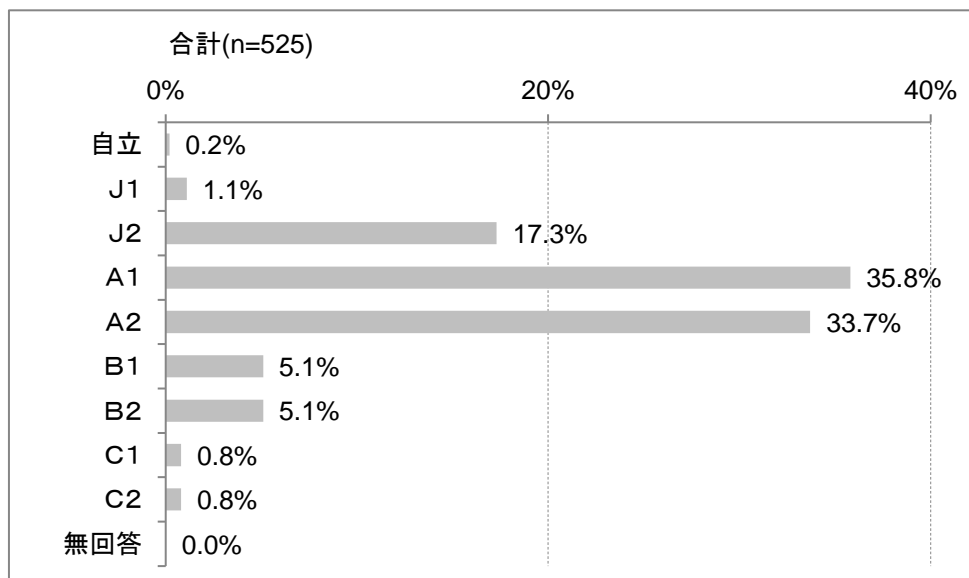
(7) 短期系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く 94.2%となっている。次いで、「10～14回(1.6%)」、「1～4回(1.4%)」となっている。



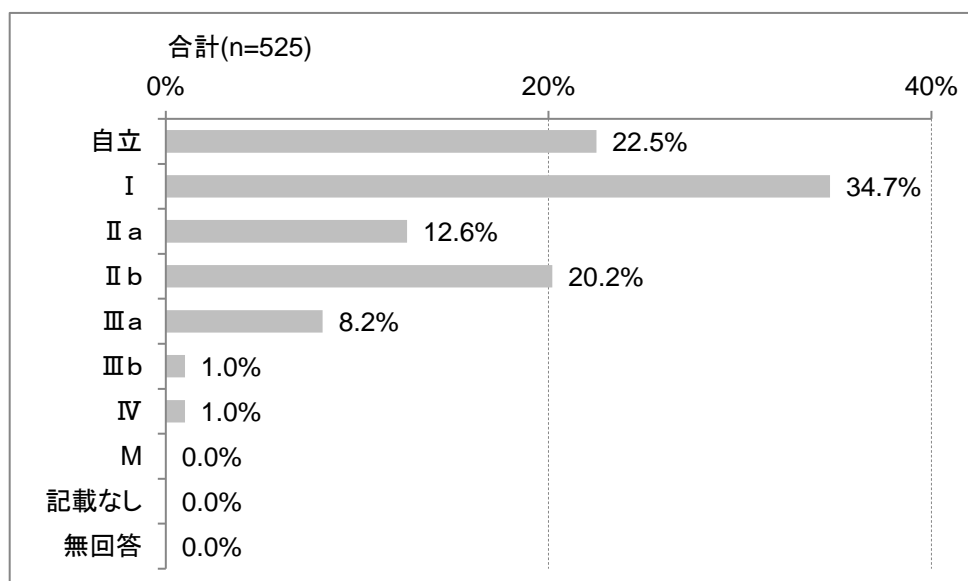
(8) 障害高齢者の日常生活自立度

「A1」の割合が最も高く 35.8%となっている。次いで、「A2 (33.7%)」、「J2 (17.3%)」となっている。



(9) 認知症高齢者の日常生活自立度

「I」の割合が最も高く 34.7%となっている。次いで、「自立 (22.5%)」、「II b (20.2%)」となっている。



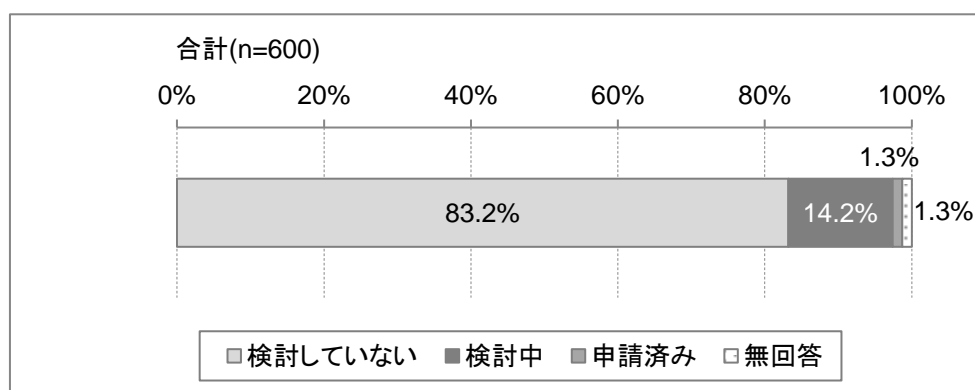
Ⅲ クロス集計

1 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

(1) 基礎集計

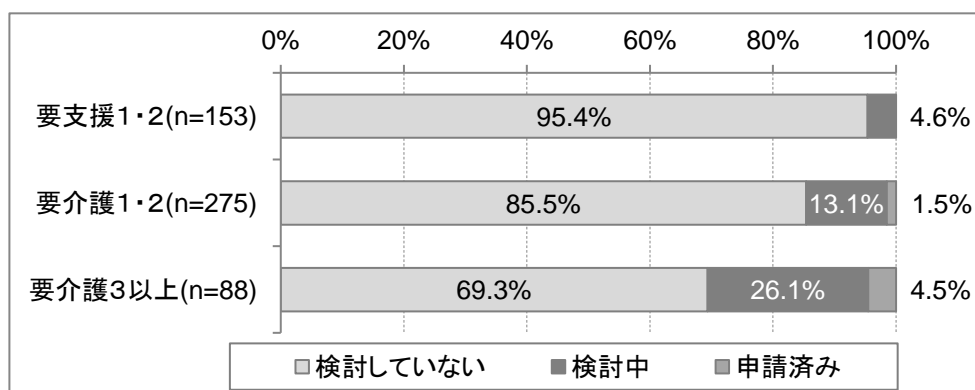
①施設等検討の状況

施設等の検討の状況では、「検討していない」の割合が最も高く 83.2%となっている。次いで、「検討中（14.2）」、「申請済み（1.3%）」となっている。



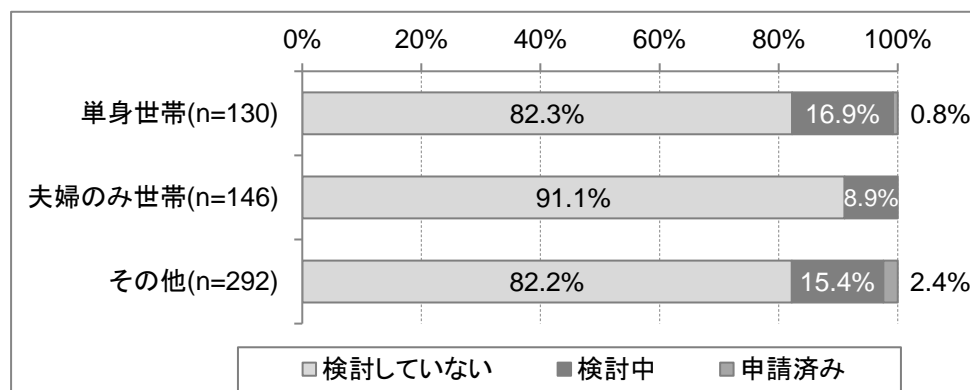
②要介護度別・施設等検討の状況

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が 95.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 4.6%となっている。「要介護1・2」では「検討していない」が 85.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 13.1%、「申請済み」が 1.5%となっている。「要介護3以上」では「検討していない」が 69.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 26.1%、「申請済み」が 4.5%となっている。



③世帯類型別・施設等検討の状況

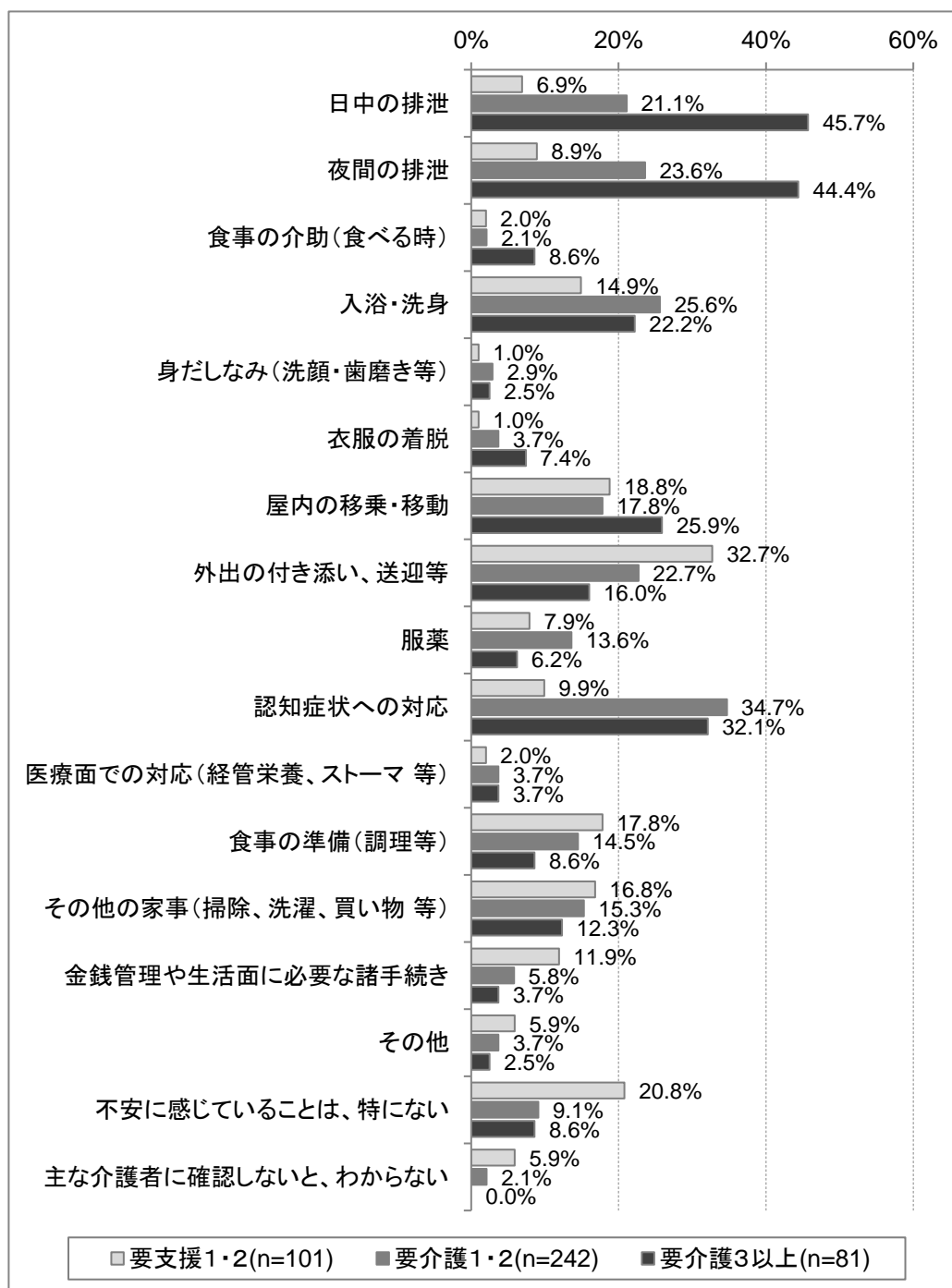
施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が82.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が16.9%、「申請済み」が0.8%となっている。「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が91.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」が8.9%となっている。「その他」では「検討していない」が82.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が15.4%、「申請済み」が2.4%となっている。



(2) 要介護度・認知症高齢者自立度の重度化に伴う「主な介護者が不安を感じる介護」の変化

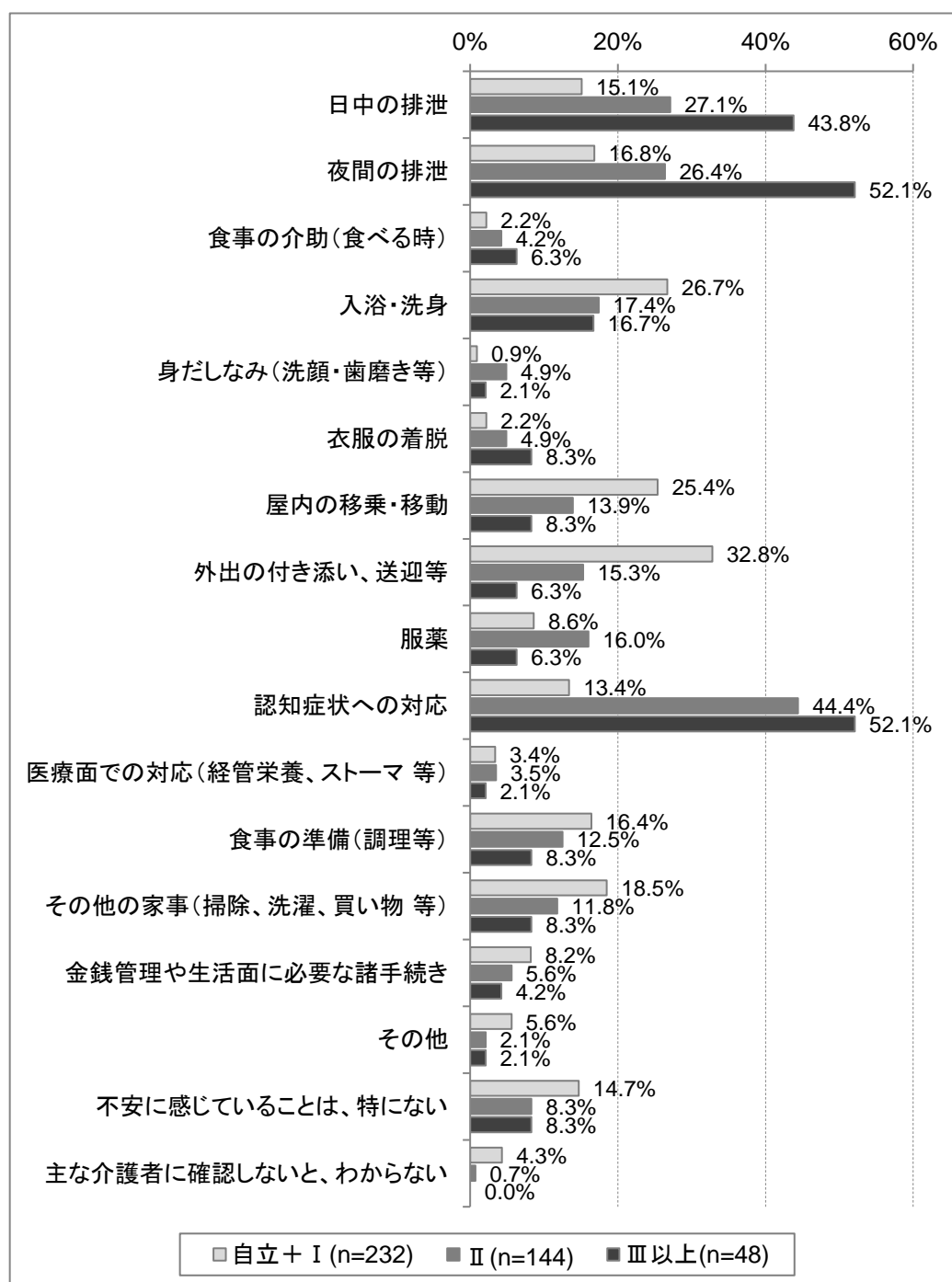
①要介護度別・介護者が不安を感じる介護

介護者が不安を感じる介護を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「外出の付き添い、送迎等」が32.7%と最も割合が高く、次いで「不安を感じていることは、特にない」が20.8%、「屋内の移乗・移動」が18.8%となっている。「要介護1・2」では「認知症状への対応」が34.7%と最も割合が高く、次いで「入浴・洗身」が25.6%、「夜間の排泄」が23.6%となっている。「要介護3以上」では「日中の排泄」が45.7%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が44.4%、「認知症状への対応」が32.1%となっている。



②認知症高齢者自立度別・介護者が不安に感じる介護

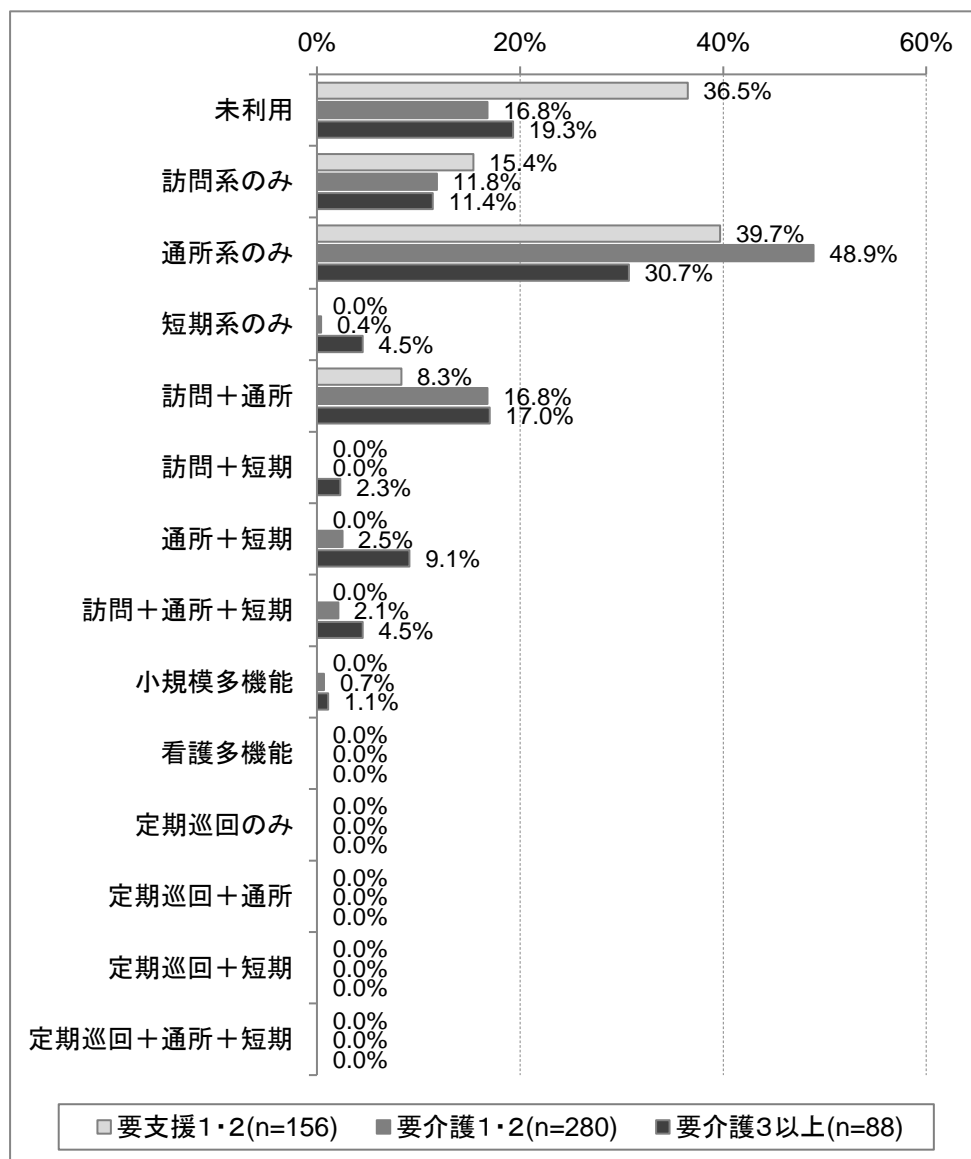
介護者が不安に感じる介護を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「外出の付き添い、送迎等」が32.8%と最も割合が高く、次いで「入浴・洗身」が26.7%、「屋内の移乗・移動」が25.4%となっている。「Ⅱ」では「認知症状への対応」が44.4%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」が27.1%、「夜間の排泄」が26.4%となっている。「Ⅲ以上」では「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が52.1%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」が43.8%、「入浴・洗身」が16.7%となっている。



(3) 要介護度・認知症高齢者自立度の重度化に伴う「サービス利用の組み合わせ」の変化

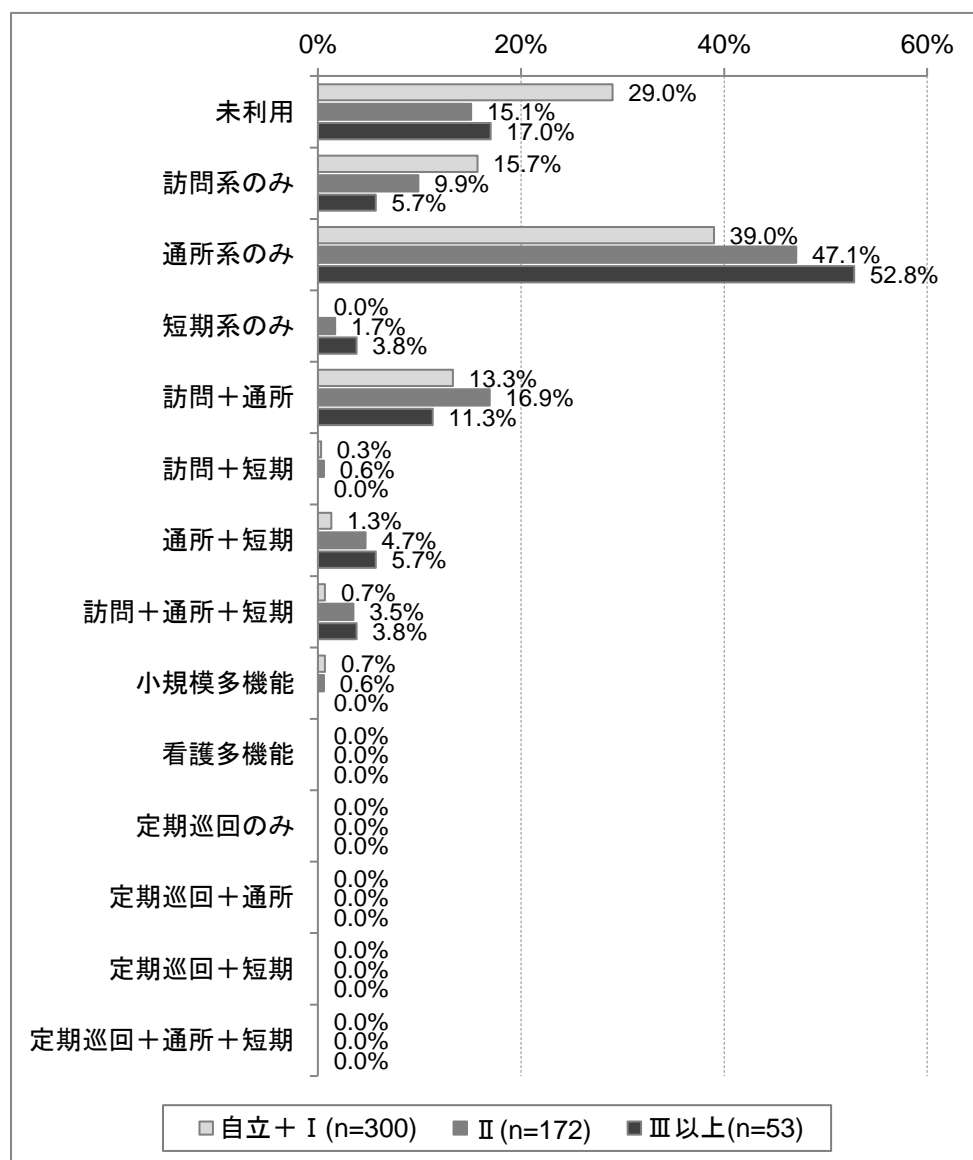
①要介護度別・サービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「通所系のみ」が39.7%と最も割合が高く、次いで「未利用」が36.5%、「訪問系のみ」が15.4%となっている。「要介護1・2」では「通所系のみ」が48.9%と最も割合が高く、次いで「未利用」、「訪問+通所」が16.8%、「訪問系のみ」が11.8%となっている。「要介護3以上」では「通所系のみ」が30.7%と最も割合が高く、次いで「未利用」が19.3%、「訪問+通所」が17.0%となっている。



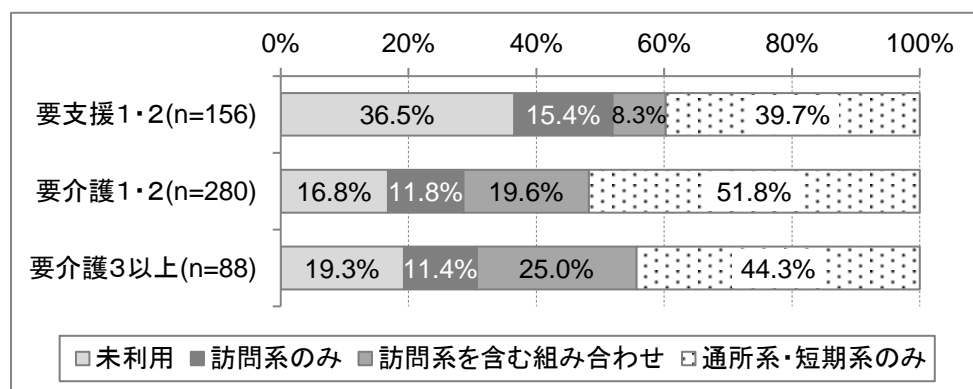
②認知症高齢者自立度別・サービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「通所系のみ」が39.0%と最も割合が高く、次いで「未利用」が29.0%、「訪問系のみ」が15.7%となっている。「Ⅱ」では「通所系のみ」が47.1%と最も割合が高く、次いで「訪問+通所」が16.9%、「未利用」が15.1%となっている。「Ⅲ以上」では「通所系のみ」が52.8%と最も割合が高く、次いで「未利用」が17.0%、「訪問+通所」が11.3%となっている。



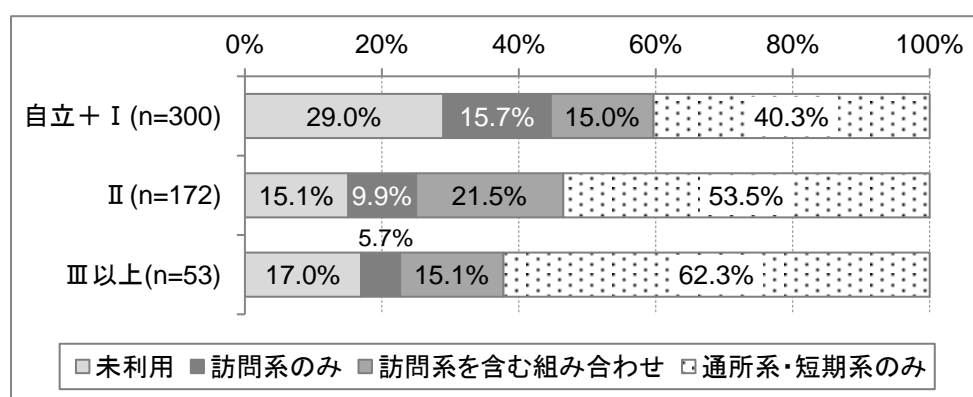
③要介護度別・サービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「通所系・短期系のみ」が39.7%と最も割合が高く、次いで「未利用」が36.5%、「訪問系のみ」が15.4%となっている。「要介護1・2」では「通所系・短期系のみ」が51.8%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が19.6%、「未利用」が16.8%となっている。「要介護3以上」では「通所系・短期系のみ」が44.3%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が25.0%、「未利用」が19.3%となっている。



④認知症高齢者自立度別・サービス利用の組み合わせ

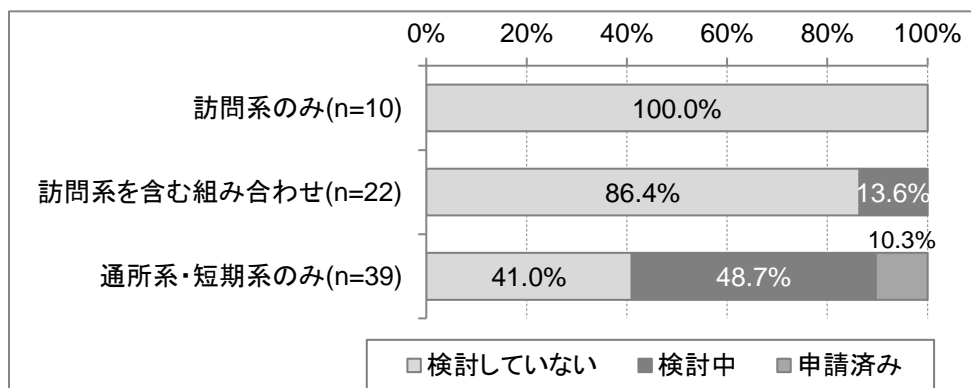
サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立+I」では「通所系・短期系のみ」が40.3%と最も割合が高く、次いで「未利用」が29.0%、「訪問系のみ」が15.7%となっている。「II」では「通所系・短期系のみ」が53.5%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が21.5%、「未利用」が15.1%となっている。「III以上」では「通所系・短期系のみ」が62.3%と最も割合が高く、次いで「未利用」が17.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が15.1%となっている。



(4) 「サービス利用の組み合わせ」と「施設等検討の状況」の関係

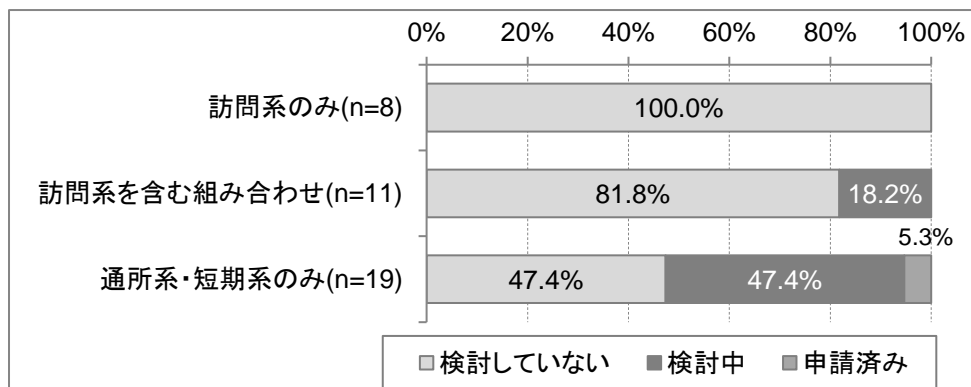
① サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(要介護3以上)

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が100.0%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」が86.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が13.6%となっている。「通所系・短期系のみ」では「検討中」が48.7%と最も割合が高く、次いで「検討していない」が41.0%、「申請済み」が10.3%となっている。



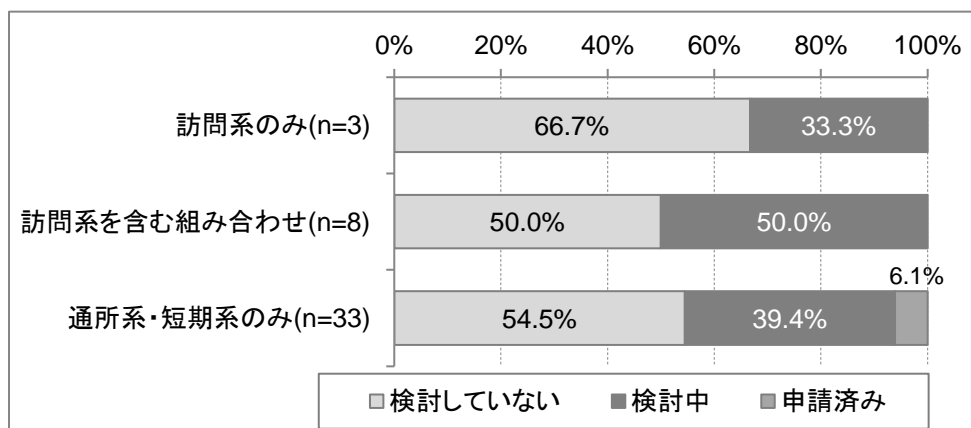
② サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況(要介護4以上)

施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が100.0%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」が81.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が18.2%となっている。「通所系・短期系のみ」では「検討していない」、「検討中」が47.4%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が5.3%となっている。



③サービス利用の組み合わせと施設等検討の状況（認知症Ⅲ以上）

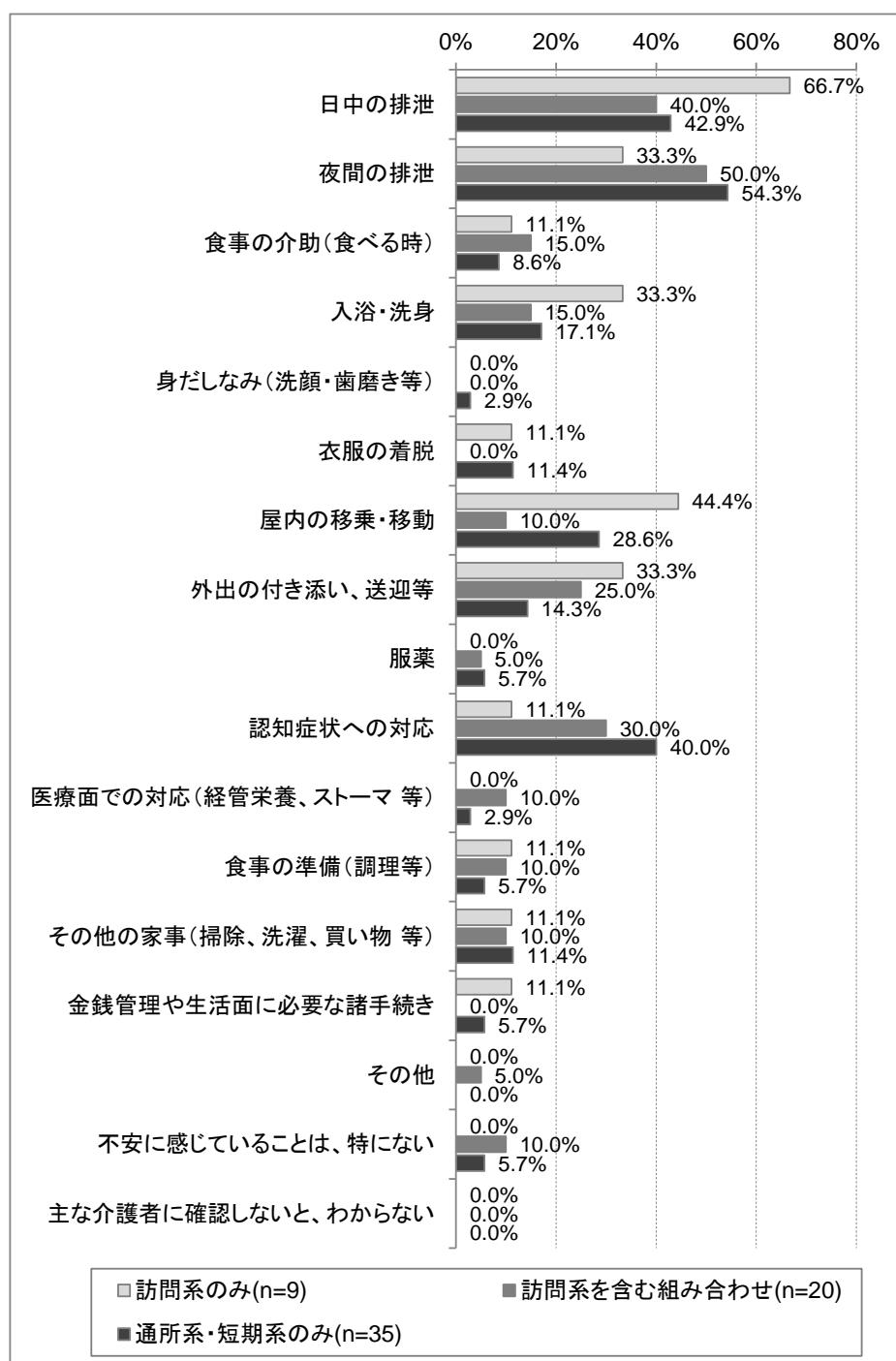
施設等の検討状況をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「検討していない」が66.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が33.3%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「検討していない」、「検討中」が50.0%となっている。「通所系・短期系のみ」では「検討していない」が54.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が39.4%、「申請済み」が6.1%となっている。



(5) 「サービス利用の組み合わせ」と「主な介護者が不安を感じる介護」の関係

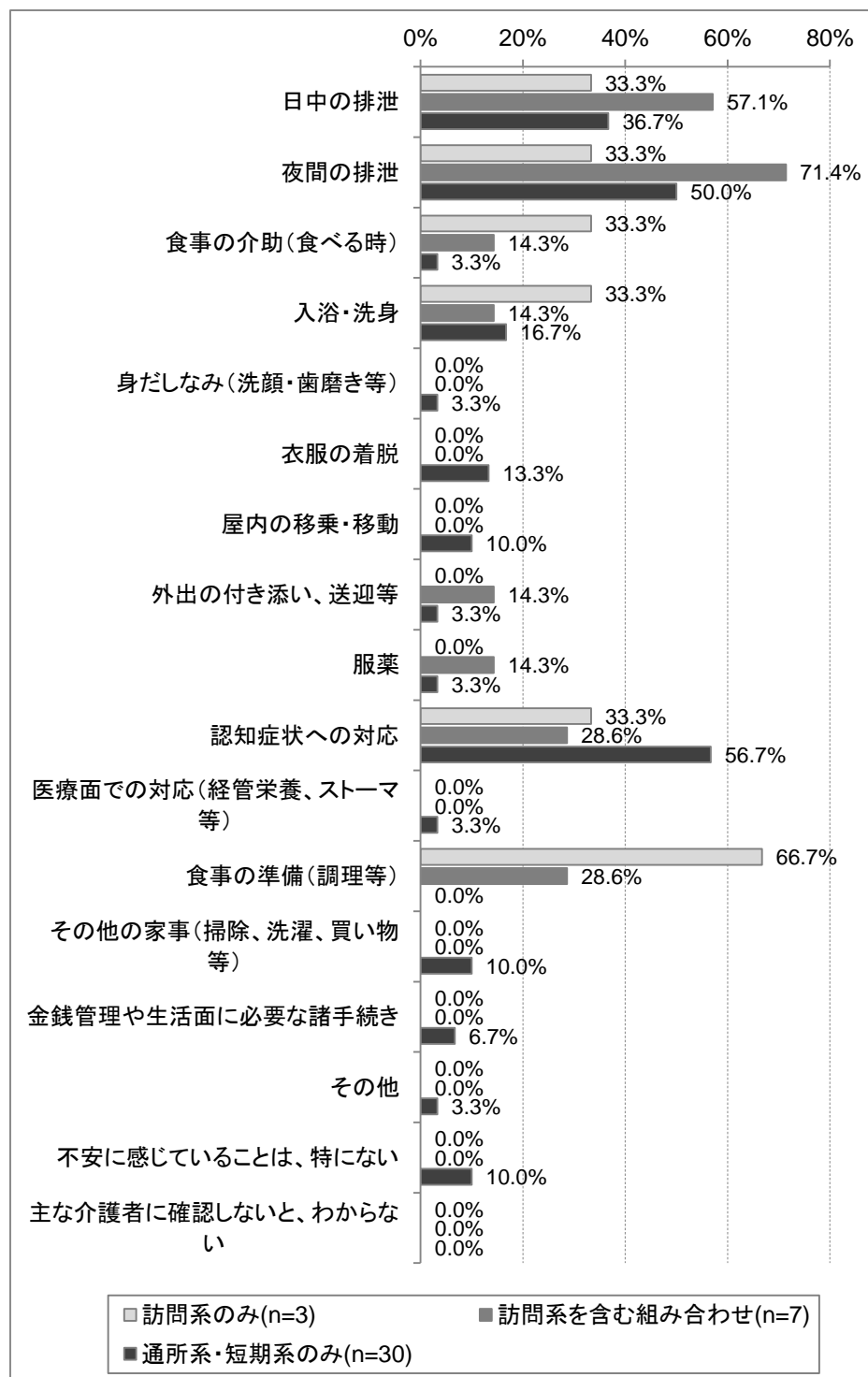
① サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護(要介護3以上)

介護者が不安を感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「日中の排泄」が66.7%と最も割合が高く、次いで「屋内の移乗・移動」が44.4%、「夜間の排泄」、「入浴・洗身」、「外出の付き添い、送迎等」が33.3%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「夜間の排泄」が50.0%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」が40.0%、「認知症状への対応」が30.0%となっている。「通所系・短期系のみ」では「夜間の排泄」が54.3%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」が42.9%、「認知症状への対応」が40.0%となっている。



②サービス利用の組み合わせ別・介護者が不安を感じる介護(認知症Ⅲ以上)

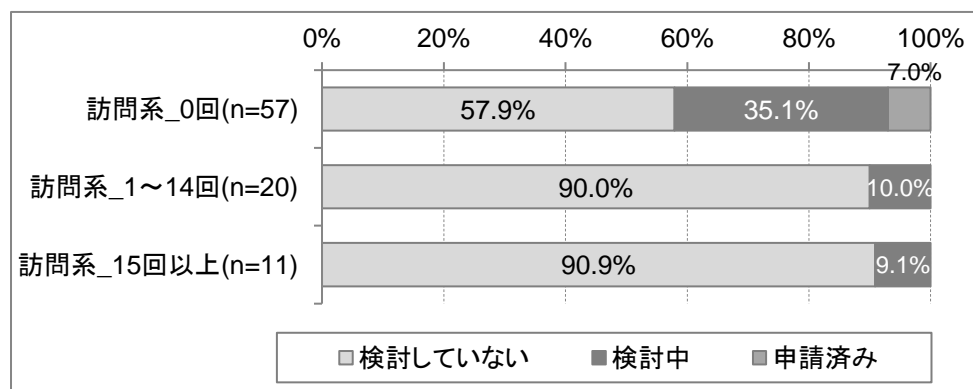
介護者が不安を感じる介護をサービス利用の組み合わせ別にみると、「訪問系のみ」では「食事の準備(調理等)」が66.7%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「食事の介助(食べる時)」、「入浴・洗身」、「認知症状への対応」が33.3%となっている。「訪問系を含む組み合わせ」では「夜間の排泄」が71.4%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」が57.1%、「認知症状への対応」、「食事の準備(調理等)」が28.6%となっている。「通所系・短期系のみ」では「認知症状への対応」が56.7%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が50.0%、「日中の排泄」が36.7%となっている。



(6) 「サービス利用の回数」と「施設等検討の状況」の関係

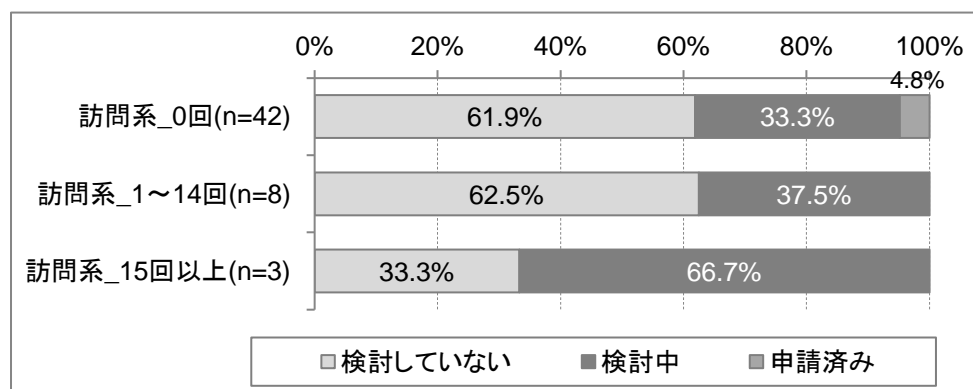
① サービス利用回数と施設等検討の状況(訪問系、要介護3以上)

施設等の検討状況を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「検討していない」が57.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が35.1%、「申請済み」が7.0%となっている。「訪問系_1～14回」では「検討していない」が90.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が10.0%となっている。「訪問系_15回以上」では「検討していない」が90.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が9.1%となっている。



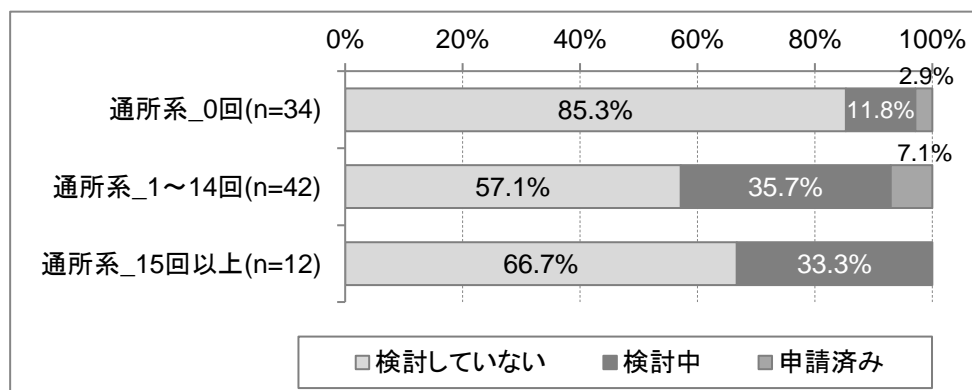
② サービス利用回数と施設等検討の状況(訪問系、認知症Ⅲ以上)

施設等の検討状況を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「検討していない」が61.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が33.3%、「申請済み」が4.8%となっている。「訪問系_1～14回」では「検討していない」が62.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が37.5%となっている。「訪問系_15回以上」では「検討中」が66.7%と最も割合が高く、次いで「検討していない」が33.3%となっている。



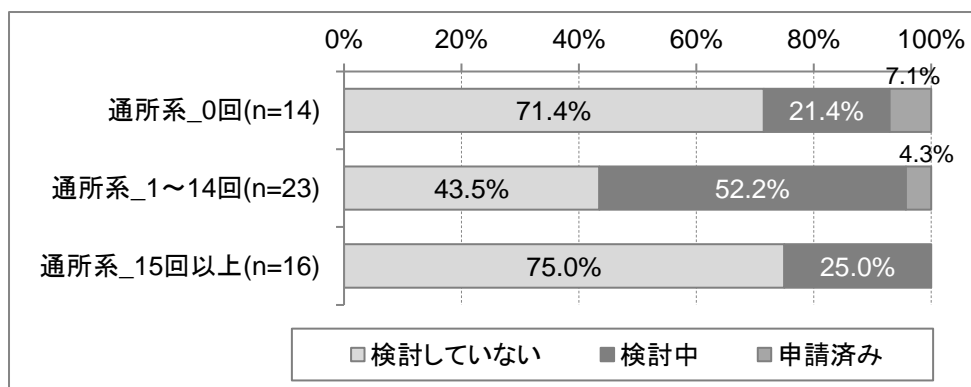
③ サービス利用回数と施設等検討の状況(通所系、要介護3以上)

施設等の検討状況を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「検討していない」が85.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が11.8%、「申請済み」が2.9%となっている。「通所系_1~14回」では「検討していない」が57.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」が35.7%、「申請済み」が7.1%となっている。「通所系_15回以上」では「検討していない」が66.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が33.3%となっている。



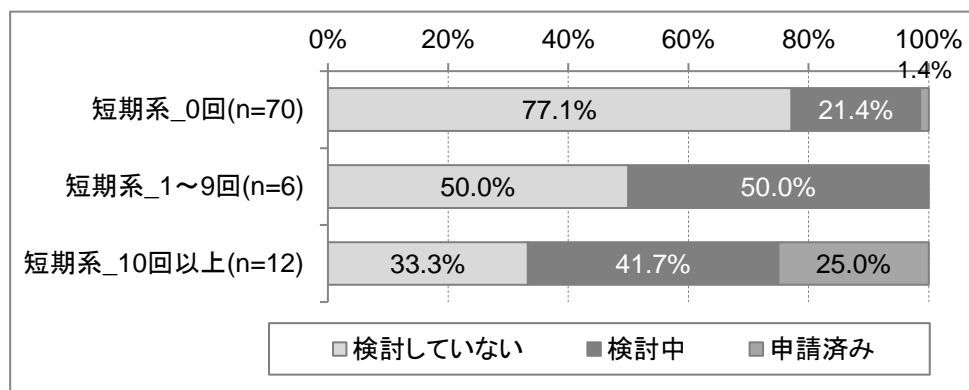
④ サービス利用回数と施設等検討の状況(通所系、認知症Ⅲ以上)

施設等の検討状況を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「検討していない」が71.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が21.4%、「申請済み」が7.1%となっている。「通所系_1~14回」では「検討中」が52.2%と最も割合が高く、次いで「検討していない」が43.5%、「申請済み」が4.3%となっている。「通所系_15回以上」では「検討していない」が75.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が25.0%となっている。



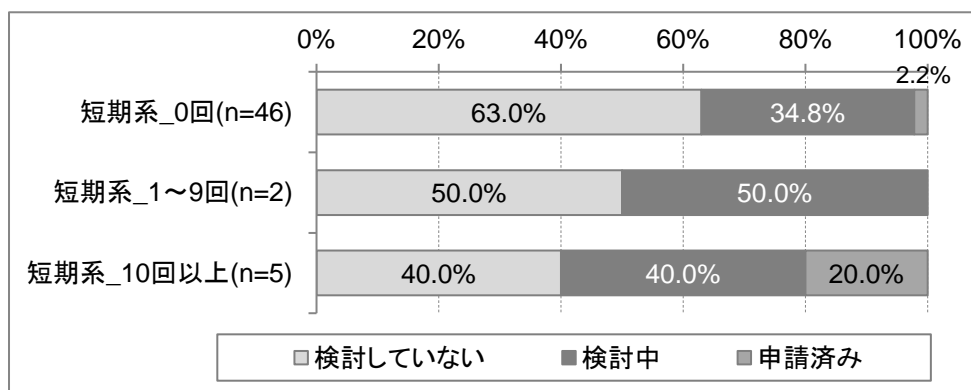
⑤ サービス利用回数と施設等検討の状況(短期系、要介護3以上)

施設等の検討状況を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「検討していない」が77.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」が21.4%、「申請済み」が1.4%となっている。「短期系_1~9回」では「検討していない」、「検討中」が50.0%と最も割合が高くなっている。「短期系_10回以上」では「検討中」が41.7%と最も割合が高く、次いで「検討していない」が33.3%、「申請済み」が25.0%となっている。



⑥ サービス利用回数と施設等検討の状況(短期系、認知症Ⅲ以上)

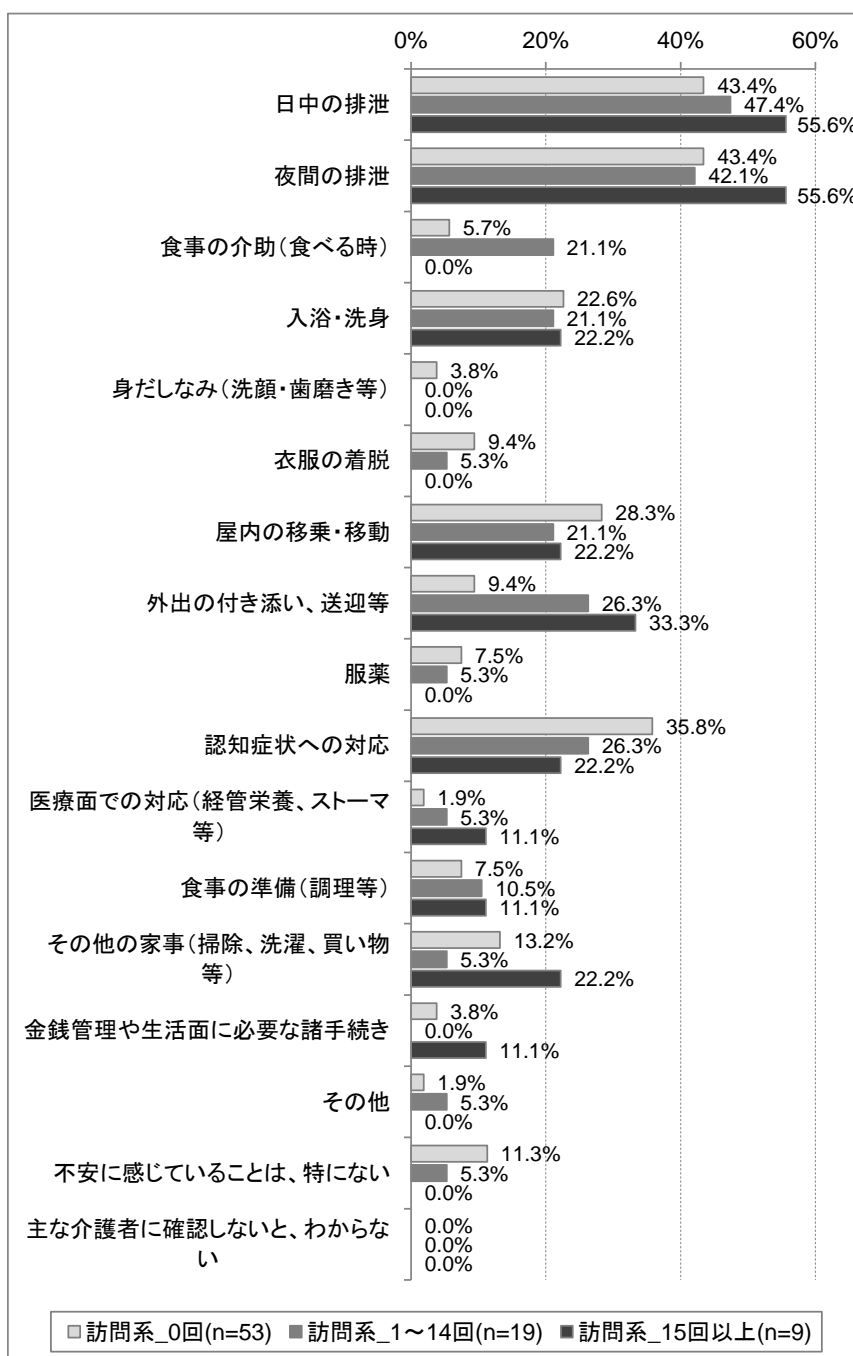
施設等の検討状況を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「検討していない」が63.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が34.8%、「申請済み」が2.2%となっている。「短期系_1~9回」では「検討していない」、「検討中」が50.0%と最も割合が高くなっている。「短期系_10回以上」では「検討していない」、「検討中」が40.0%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が20.0%となっている。



(7) 「サービス利用の回数」と「主な介護者が不安を感じる介護」の関係

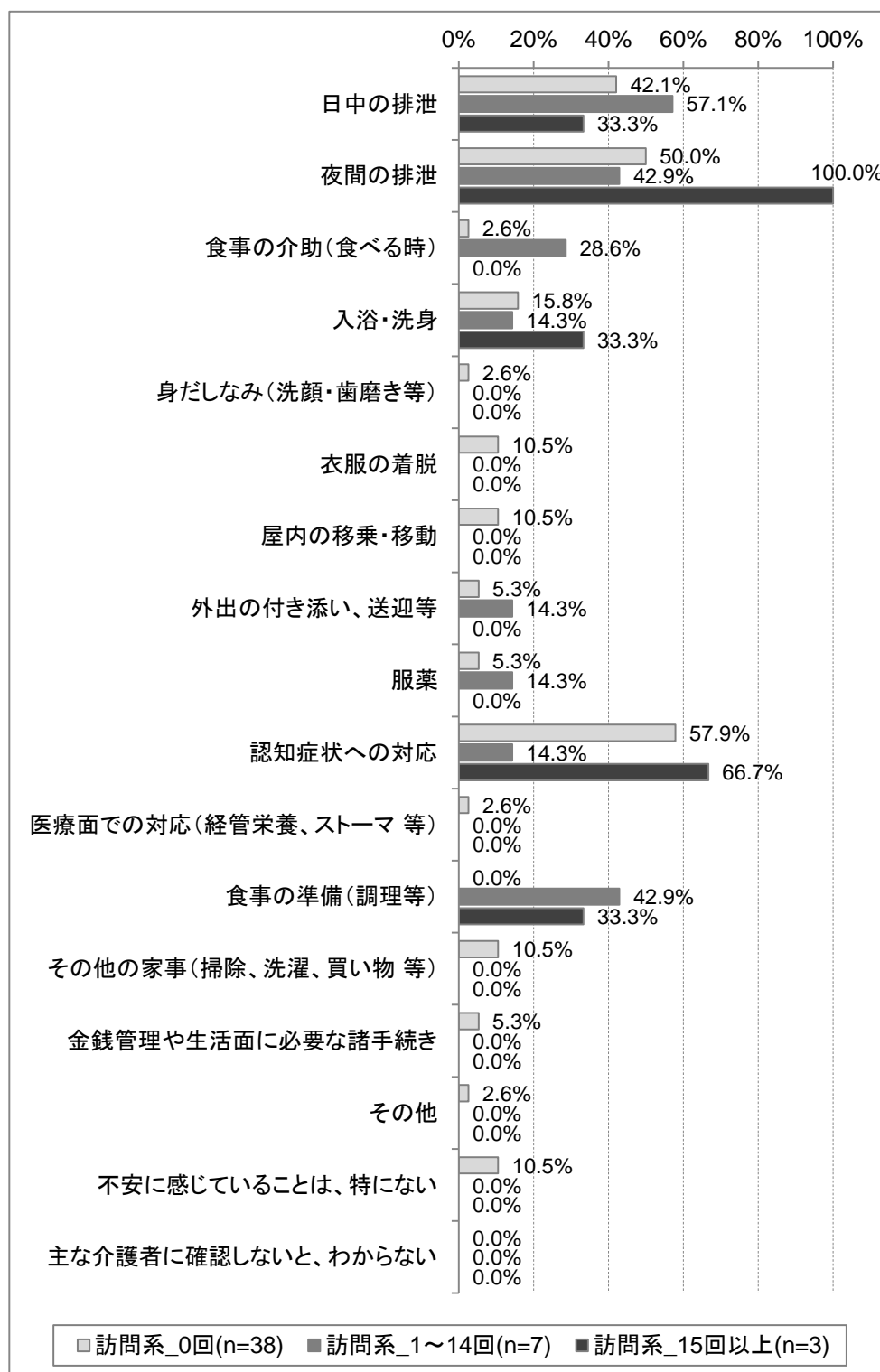
①サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(訪問系、要介護3以上)

介護者が不安を感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」が43.4%と最も割合が高く、次いで「認知症状への対応」が35.8%、「屋内の移乗・移動」が28.3%となっている。「訪問系_1~14回」では「日中の排泄」が47.4%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が42.1%、「外出の付き添い、送迎等」、「認知症状への対応」が26.3%となっている。「訪問系_15回以上」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」が55.6%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が33.3%、「入浴・洗身」、「屋内の移乗・移動」、「認知症状への対応」、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が22.2%となっている。



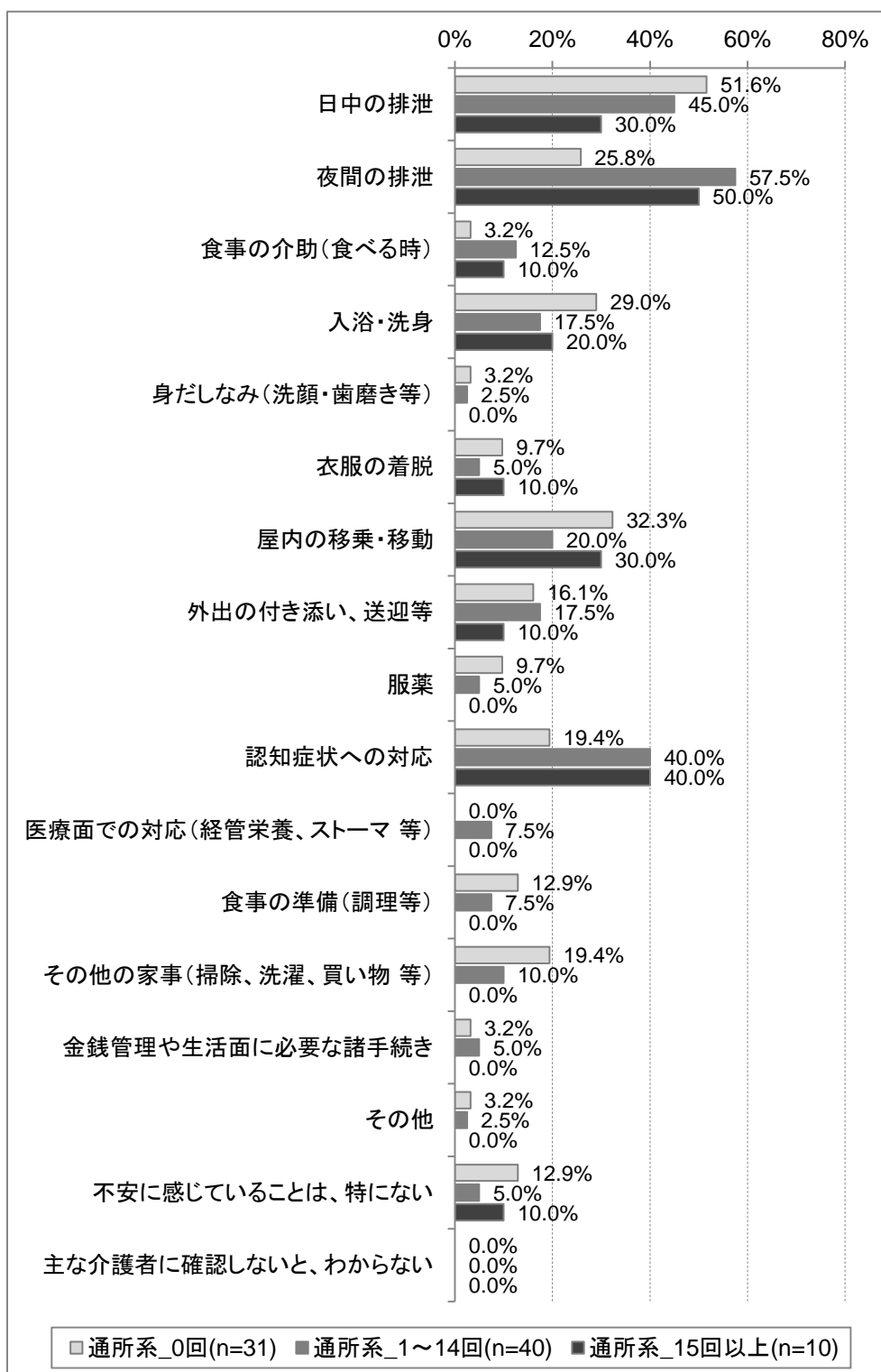
②サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(訪問系、認知症Ⅲ以上)

介護者が不安を感じる介護を訪問系の利用回数別にみると、「訪問系_0回」では「認知症状への対応」が57.9%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が50.0%、「日中の排泄」が42.1%となっている。「訪問系_1~14回」では「日中の排泄」が57.1%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「食事の準備(調理等)」が42.9%、「食事の介助(食べる時)」が28.6%となっている。「訪問系_15回以上」では「夜間の排泄」が100.0%、次いで「認知症状への対応」が66.7%、「日中の排泄」、「入浴・洗身」、「食事の準備(調理等)」が33.3%となっている。



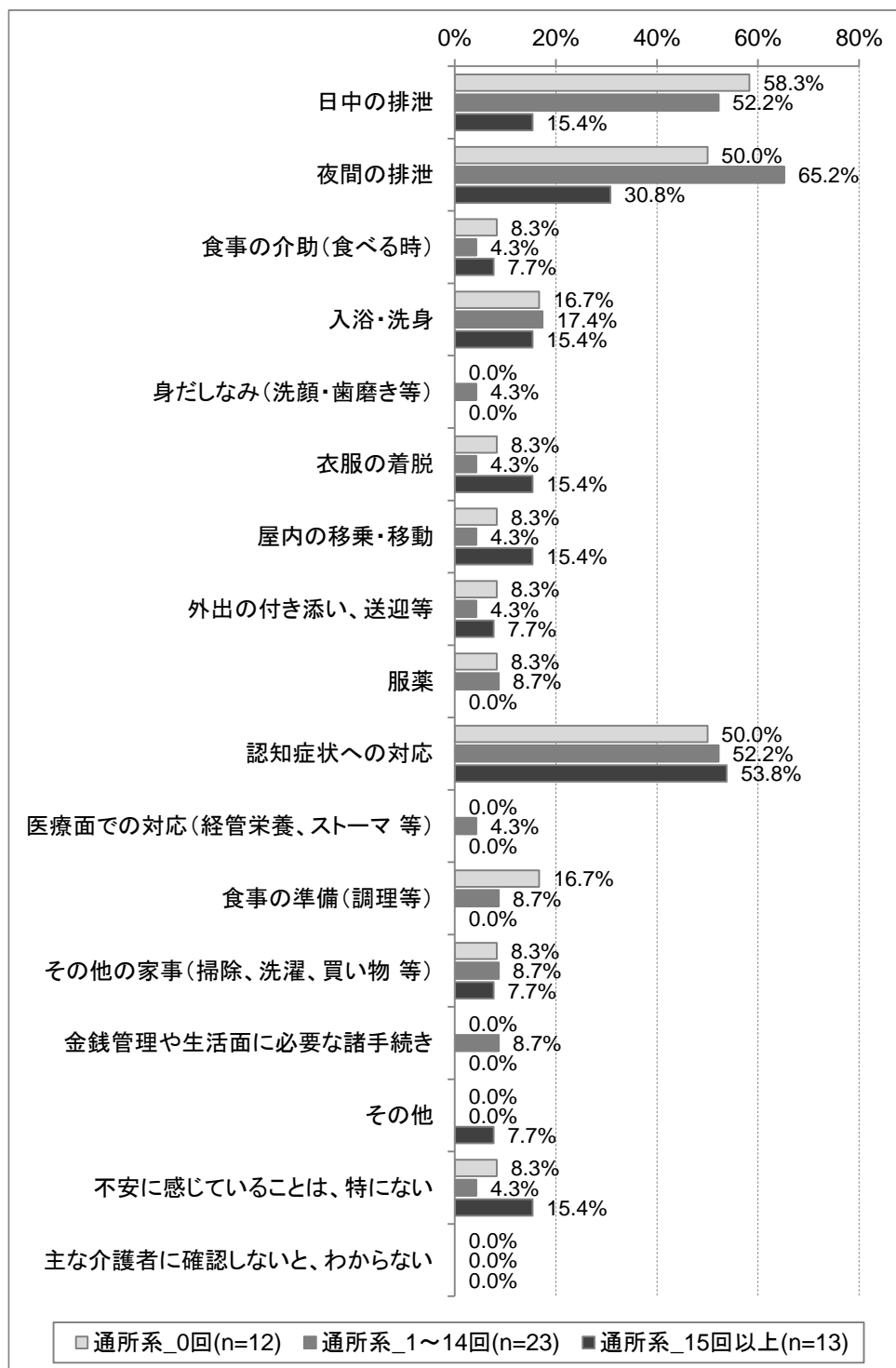
③サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(通所系、要介護3以上)

介護者が不安を感じる介護を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「日中の排泄」が51.6%と最も割合が高く、次いで「屋内の移乗・移動」が32.3%、「入浴・洗身」が29.0%となっている。「通所系_1～14回」では「夜間の排泄」が57.5%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」が45.0%、「認知症状への対応」が40.0%となっている。「通所系_15回以上」では「夜間の排泄」が50.0%と最も割合が高く、次いで「認知症状への対応」が40.0%、「日中の排泄」、「屋内の移乗・移動」が30.0%となっている。



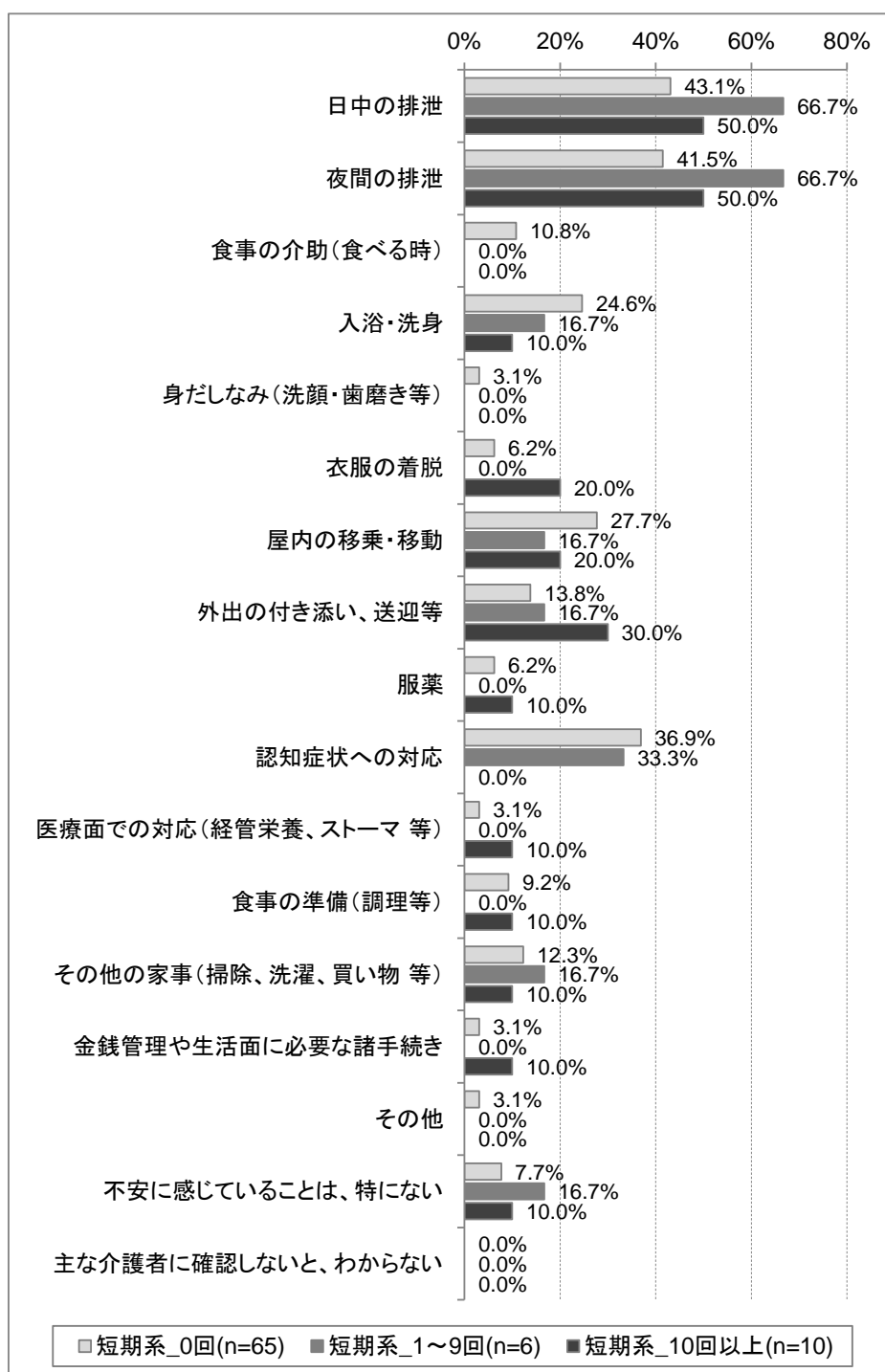
④サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(通所系、認知症Ⅲ以上)

介護者が不安を感じる介護を通所系の利用回数別にみると、「通所系_0回」では「日中の排泄」が58.3%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」、「認知症状への対応」が50.0%、「入浴・洗身」、「食事の準備(調理等)」が16.7%となっている。「通所系_1~14回」では「夜間の排泄」が65.2%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」、「認知症状への対応」が52.2%、「入浴・洗身」が17.4%となっている。「通所系_15回以上」では「認知症状への対応」が53.8%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が30.8%、「日中の排泄」、「入浴・洗身」、「衣服の着脱」、「屋内の移乗・移動」が15.4%となっている。



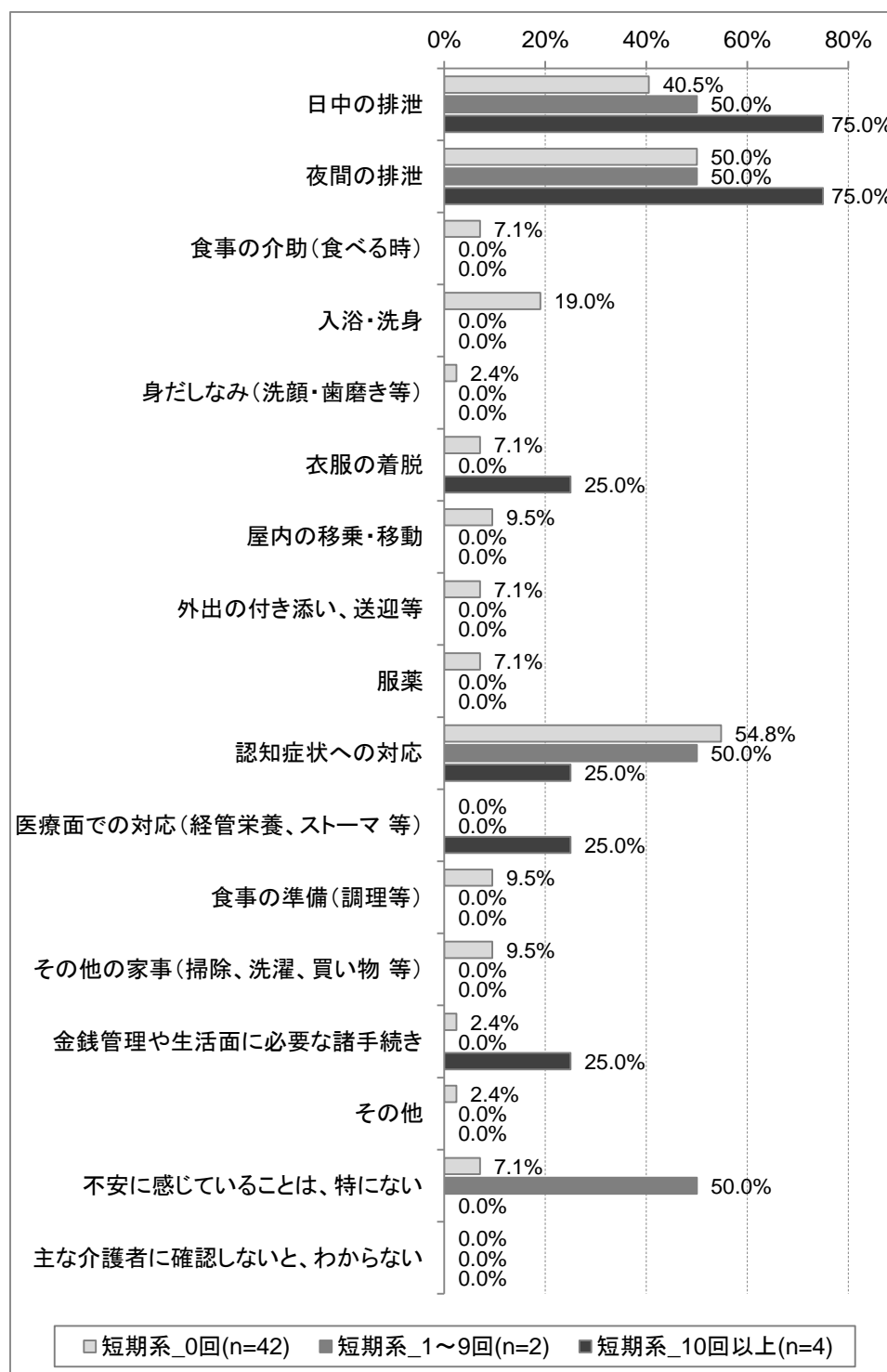
⑤サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(短期系、要介護3以上)

介護者が不安を感じる介護を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「日中の排泄」が43.1%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が41.5%、「認知症状への対応」が36.9%となっている。「短期系_1~9回」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」が66.7%と最も割合が高く、次いで「認知症状への対応」が33.3%、「入浴・洗身」、「屋内の移乗・移動」、「外出の付き添い、送迎等」、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」、「不安に感じていることは、特にない」が16.7%となっている。「短期系_10回以上」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」が50.0%と最も割合が高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が30.0%、「衣服の着脱」、「屋内の移乗・移動」が20.0%となっている。



⑥サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護(短期系、認知症Ⅲ以上)

介護者が不安を感じる介護を短期系の利用回数別にみると、「短期系_0回」では「認知症状への対応」が54.8%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が50.0%、「日中の排泄」が40.5%となっている。「短期系_1~9回」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」、「認知症状への対応」、「不安に感じていることは、特にない」が50.0%と最も割合が高くなっている。「短期系_10回以上」では「日中の排泄」、「夜間の排泄」が75.0%と最も割合が高く、次いで「衣服の着脱」、「認知症状への対応」、「医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が25.0%となっている。

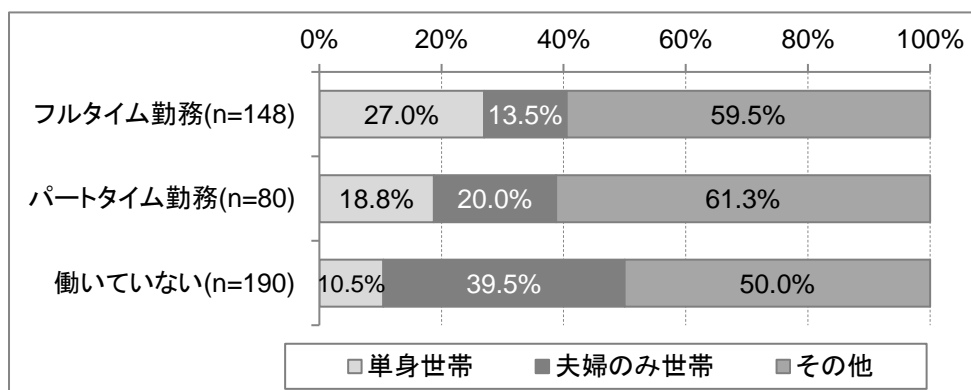


2 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

(1) 基本集計

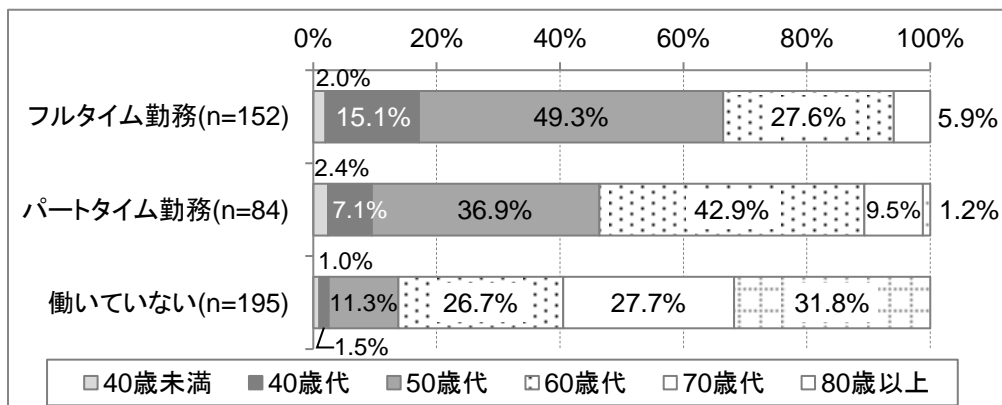
①就労状況別・世帯類型

世帯類型を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「その他」が59.5%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」が27.0%、「夫婦のみ世帯」が13.5%となっている。「パートタイム勤務」では「その他」が61.3%と最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が20.0%、「単身世帯」が18.8%となっている。「働いていない」では「その他」が50.0%と最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が39.5%、「単身世帯」が10.5%となっている。



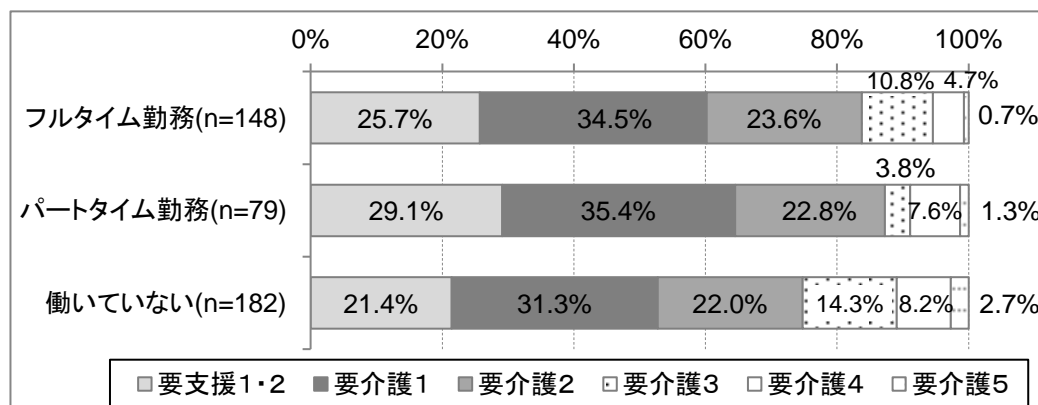
②就労状況別・主な介護者の年齢

介護者の年齢を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「50歳代」が49.3%と最も割合が高く、次いで「60歳代」が27.6%、「40歳代」が15.1%となっている。「パートタイム勤務」では「60歳代」が42.9%と最も割合が高く、次いで「50歳代」が36.9%、「40歳代」が7.1%となっている。「働いていない」では「80歳以上」が31.8%と最も割合が高く、次いで「70歳代」が27.7%、「60歳代」が26.7%となっている。



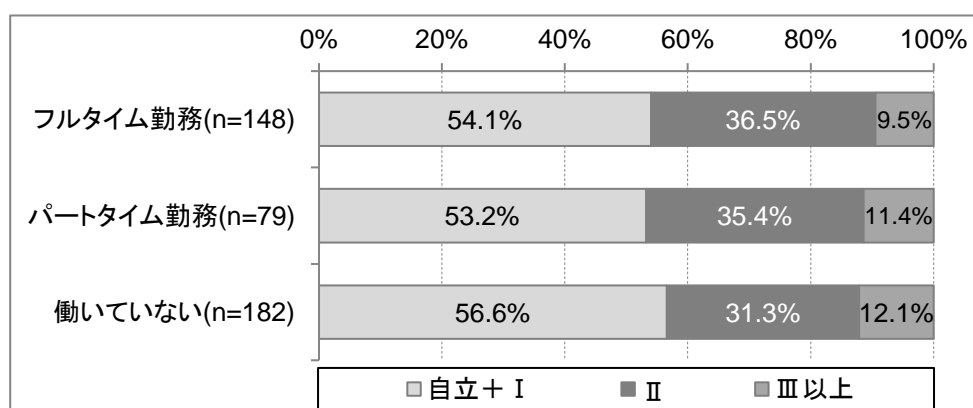
③就労状況別・要介護度

二次判定結果を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「要介護1」が34.5%と最も割合が高く、次いで「要支援1・2」が25.7%、「要介護2」が23.6%となっている。「パートタイム勤務」では「要介護1」が35.4%と最も割合が高く、次いで「要支援1・2」が29.1%、「要介護2」が22.8%となっている。「働いていない」では「要介護1」が31.3%と最も割合が高く、次いで「要介護2」が22.0%、「要支援1・2」が21.4%となっている。



④就労状況別・認知症高齢者自立度

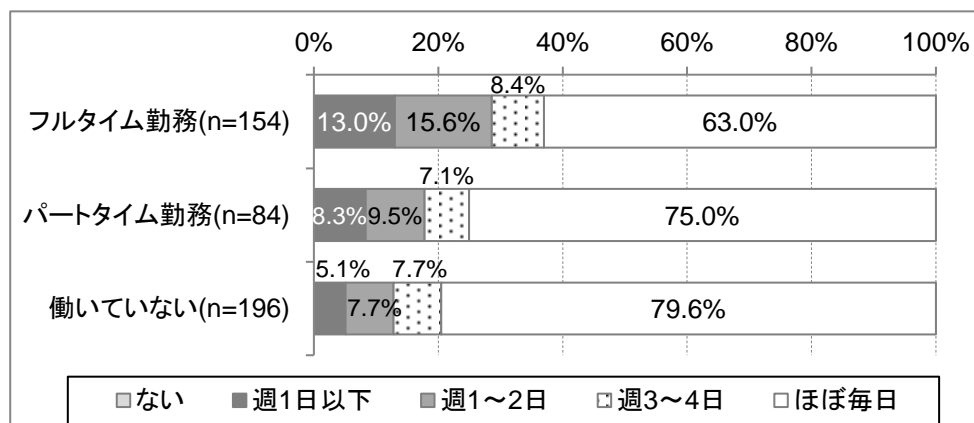
認知症高齢者自立度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「自立+I」が54.1%と最も割合が高く、次いで「II」が36.5%、「III以上」が9.5%となっている。「パートタイム勤務」では「自立+I」が53.2%と最も割合が高く、次いで「II」が35.4%、「III以上」が11.4%となっている。「働いていない」では「自立+I」が56.6%と最も割合が高く、次いで「II」が31.3%、「III以上」が12.1%となっている。



(2) 就労状況別の主な介護者が行っている介護と就労継続見込み

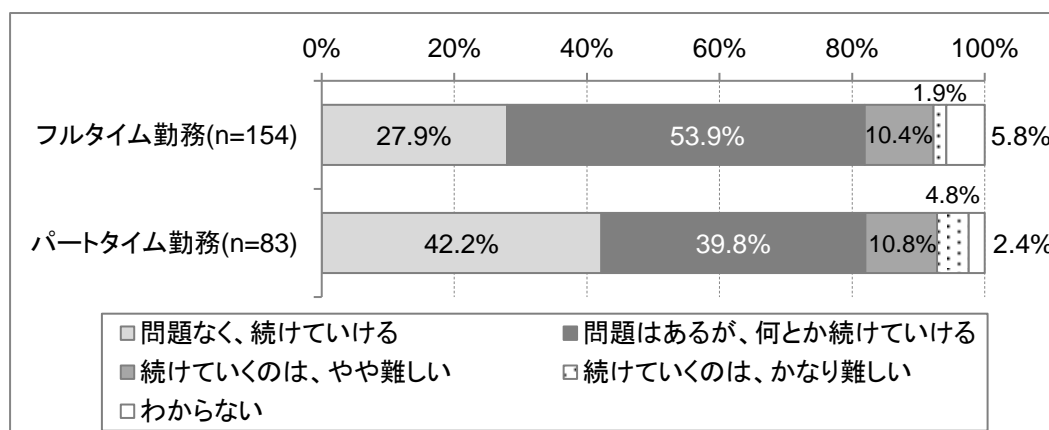
①就労状況別・家族等による介護の頻度

ご家族等の介護の頻度を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「ほぼ毎日」が63.0%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」が15.6%、「週1日以下」が13.0%となっている。「パートタイム勤務」では「ほぼ毎日」が75.0%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」が9.5%、「週1日以下」が8.3%となっている。「働いていない」では「ほぼ毎日」が79.6%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」、「週3～4日」が7.7%、「週1日以下」が5.1%となっている。



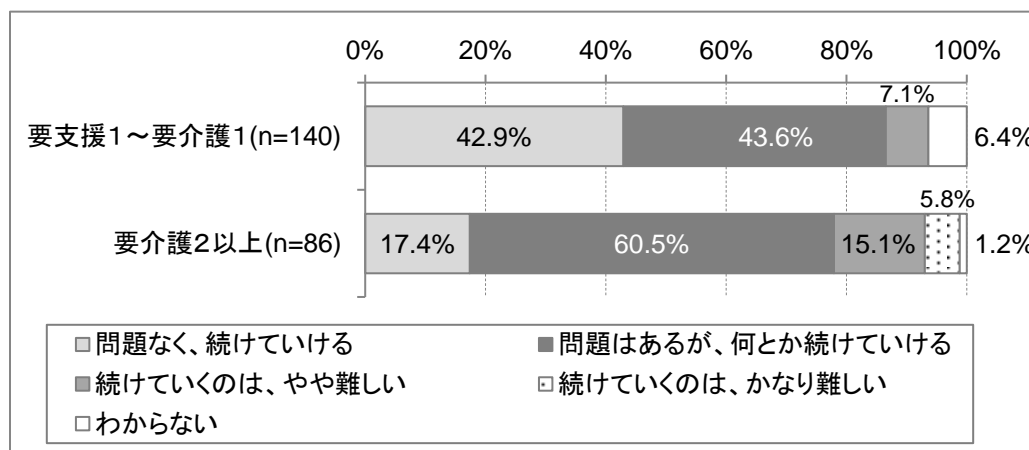
②就労状況別・就労継続見込み

介護者の就労継続の可否に係る意識を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「問題はあるが、何とか続けていける」が53.9%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が27.9%、「続けていくのは、やや難しい」が10.4%となっている。「パートタイム勤務」では「問題なく、続けていける」が42.2%と最も割合が高く、次いで「問題はあるが、何とか続けていける」が39.8%、「続けていくのは、やや難しい」が10.8%となっている。



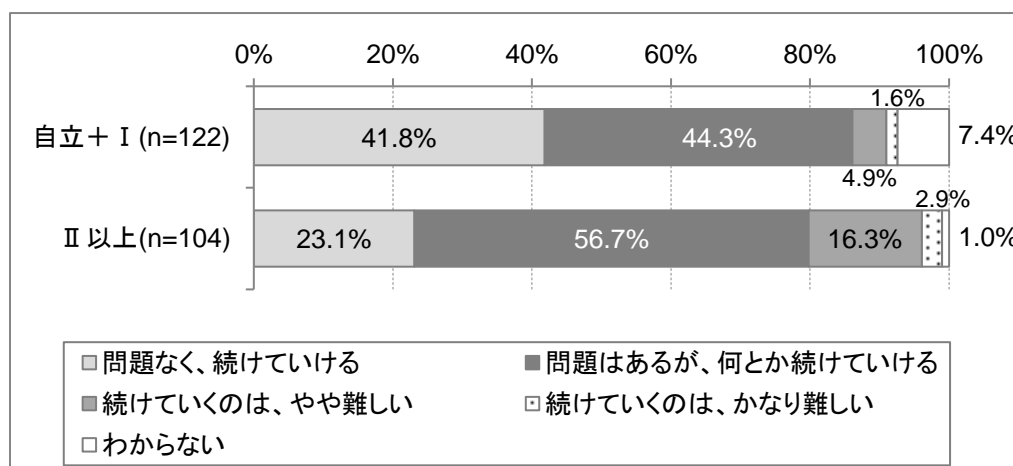
③要介護度別・就労継続見込み(フルタイム勤務+パートタイム勤務)

介護者の就労継続の可否に係る意識を二次判定結果別にみると、「要支援1～要介護1」では「問題はあるが、何とか続けていける」が43.6%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が42.9%、「続けていくのは、やや難しい」が7.1%となっている。「要介護2以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が60.5%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が17.4%、「続けていくのは、やや難しい」が15.1%となっている。



④認知症高齢者自立度別・就労継続見込み(フルタイム勤務+パートタイム勤務)

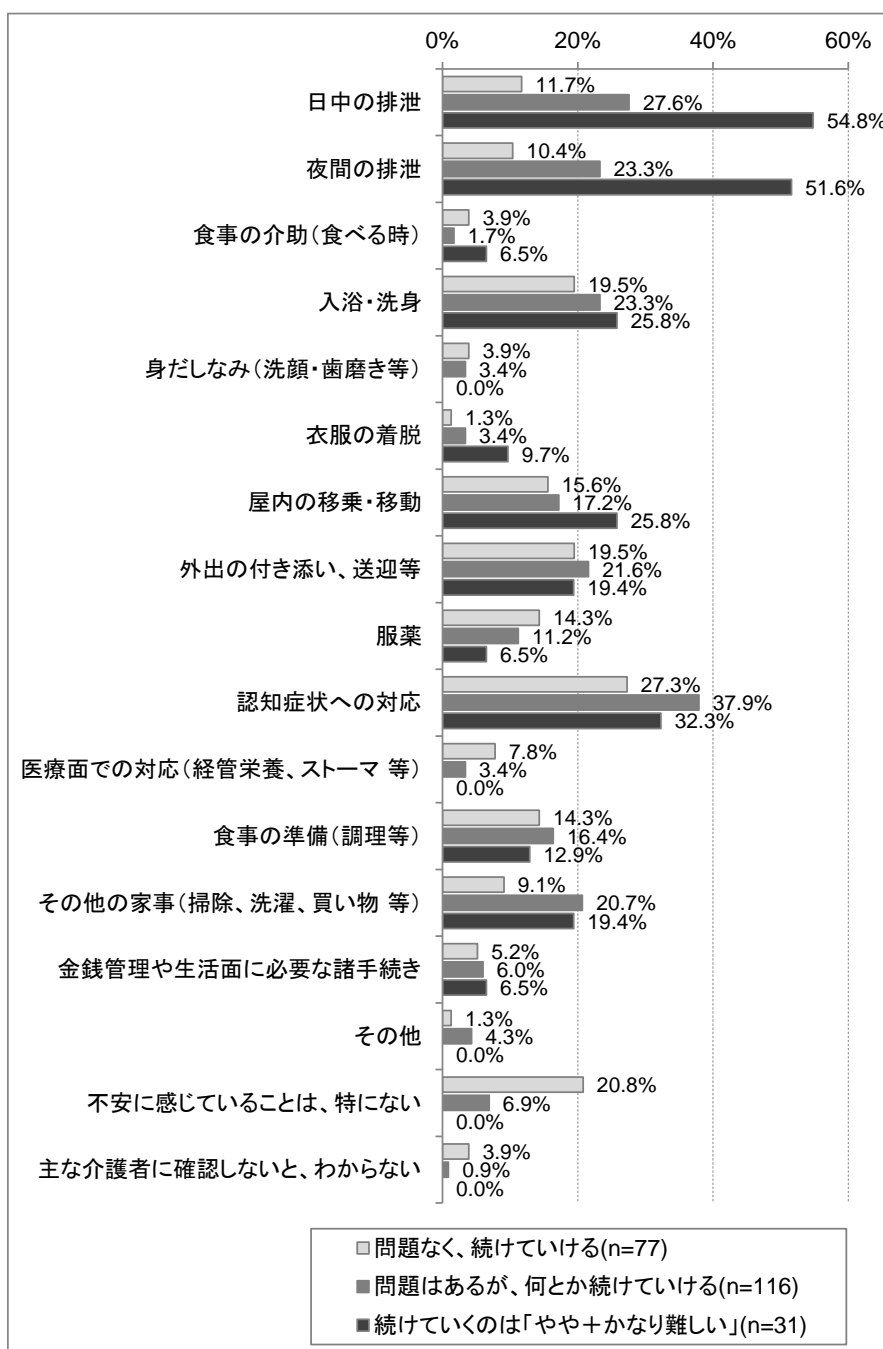
介護者の就労継続の可否に係る意識を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+ I」では「問題はあるが、何とか続けていける」が44.3%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が41.8%、「わからない」が7.4%となっている。「II以上」では「問題はあるが、何とか続けていける」が56.7%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が23.1%、「続けていくのは、やや難しい」が16.3%となっている。



(3) 「介護保険サービスの利用状況」・「主な介護者が不安に感じる介護」と「就労継続見込み」の関係

①就労継続見込み別・介護者が不安に感じる介護(フルタイム勤務+パートタイム勤務)

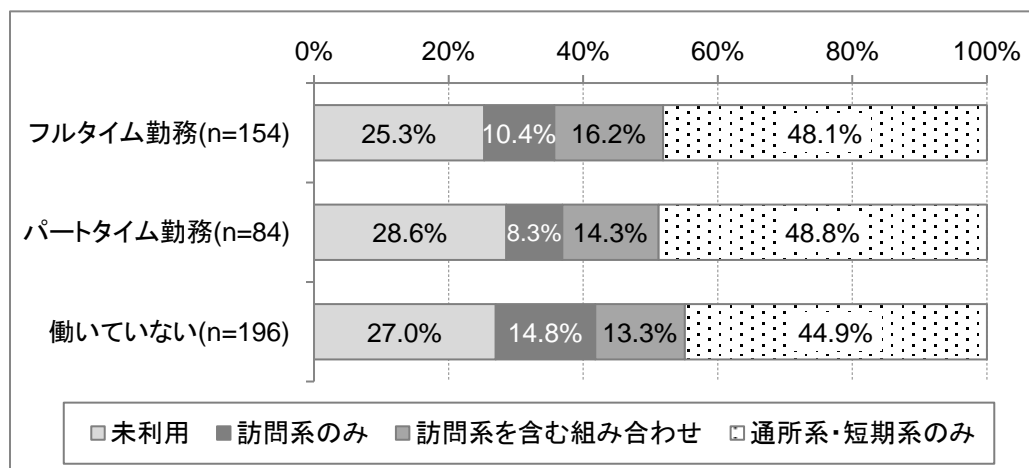
介護者が不安に感じる介護を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「認知症状への対応」が27.3%と最も割合が高く、次いで「不安に感じていることは、特にない」が20.8%、「入浴・洗身」、「外出の付き添い、送迎等」が19.5%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「認知症状への対応」が37.9%と最も割合が高く、次いで「日中の排泄」が27.6%、「夜間の排泄」、「入浴・洗身」が23.3%となっている。「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「日中の排泄」が54.8%と最も割合が高く、次いで「夜間の排泄」が51.6%、「認知症状への対応」が32.3%となっている。



(4) 「サービス利用の組み合わせ」と「就労継続見込み」の関係

①就労状況別・サービス利用の組み合わせ

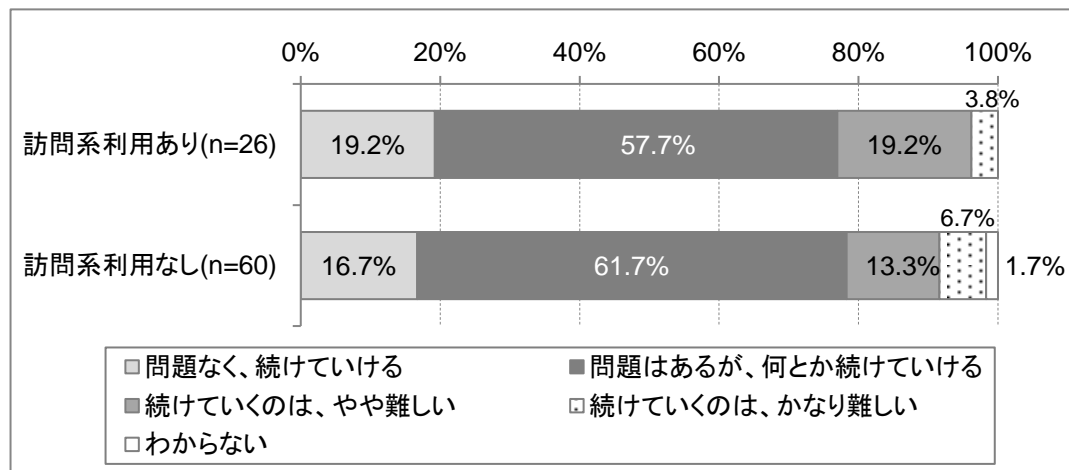
サービス利用の組み合わせを介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が48.1%と最も割合が高く、次いで「未利用」が25.3%、「訪問系を含む組み合わせ」が16.2%となっている。「パートタイム勤務」では「通所系・短期系のみ」が48.8%と最も割合が高く、次いで「未利用」が28.6%、「訪問系を含む組み合わせ」が14.3%となっている。「働いていない」では「通所系・短期系のみ」が44.9%と最も割合が高く、次いで「未利用」が27.0%、「訪問系のみ」が14.8%となっている。



②サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み

(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)

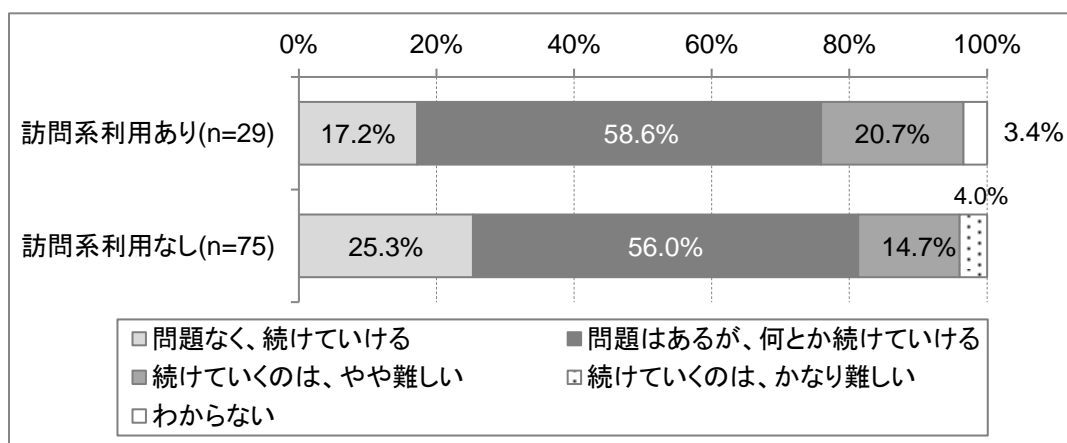
介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」が57.7%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が19.2%、「続けていくのは、やや難しい」が19.2%、「続けていくのは、かなり難しい」が3.8%となっている。「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が61.7%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が16.7%、「続けていくのは、やや難しい」が13.3%、「続けていくのは、かなり難しい」が6.7%となっている。



③ サービス利用の組み合わせ別・就労継続見込み

(認知症高齢者自立度Ⅱ以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)

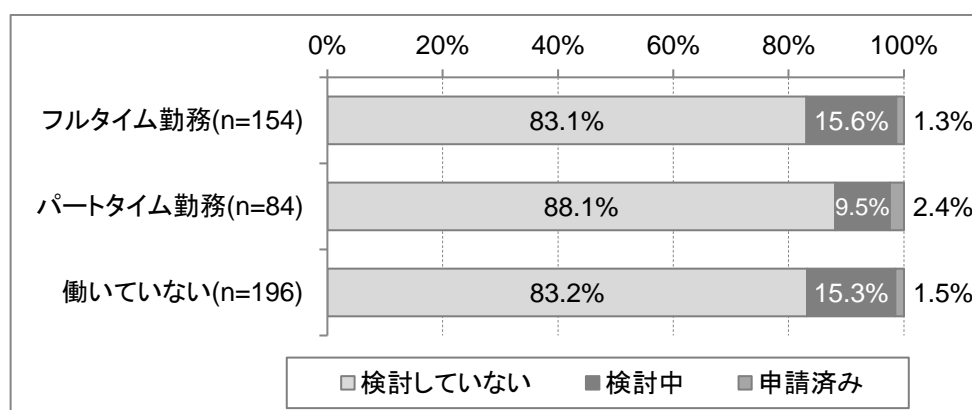
介護者の就労継続の可否に係る意識を訪問系の利用の有無別にみると、「訪問系利用あり」では「問題はあるが、何とか続けていける」が58.6%と最も割合が高く、次いで「続けていくのは、やや難しい」が20.7%、「問題なく、続けていける」が17.2%となっている。「訪問系利用なし」では「問題はあるが、何とか続けていける」が56.0%と最も割合が高く、次いで「問題なく、続けていける」が25.3%、「続けていくのは、やや難しい」が14.7%となっている。



(5) 就労状況別の保険外の支援・サービスの利用状況と施設等検討の状況

① 就労状況別・施設等検討の状況

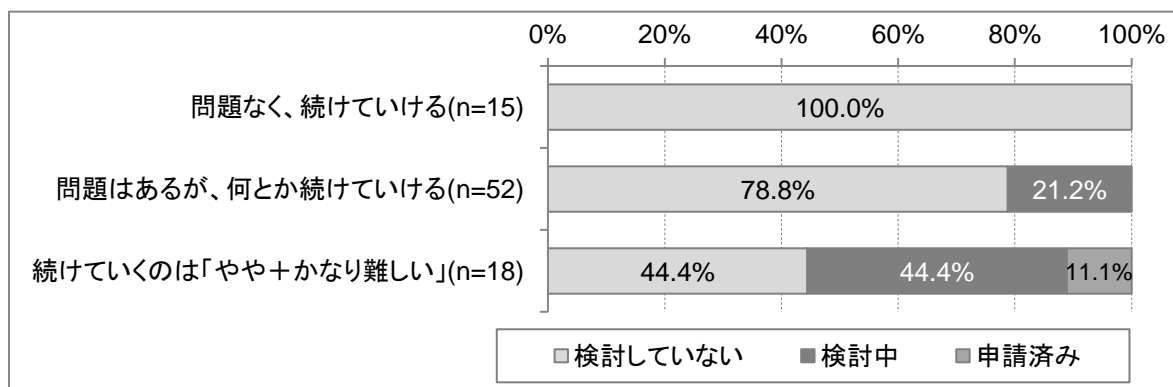
施設等の検討状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「検討していない」が83.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」が15.6%、「申請済み」が1.3%となっている。「パートタイム勤務」では「検討していない」が88.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」が9.5%、「申請済み」が2.4%となっている。「働いていない」では「検討していない」が83.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が15.3%、「申請済み」が1.5%となっている。



②就労継続見込み別・施設等検討の状況(要介護2以上、フルタイム勤務+パートタイム勤務)

施設等の検討状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「検討していない」が100.0%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「検討していない」が78.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が21.2%となっている。

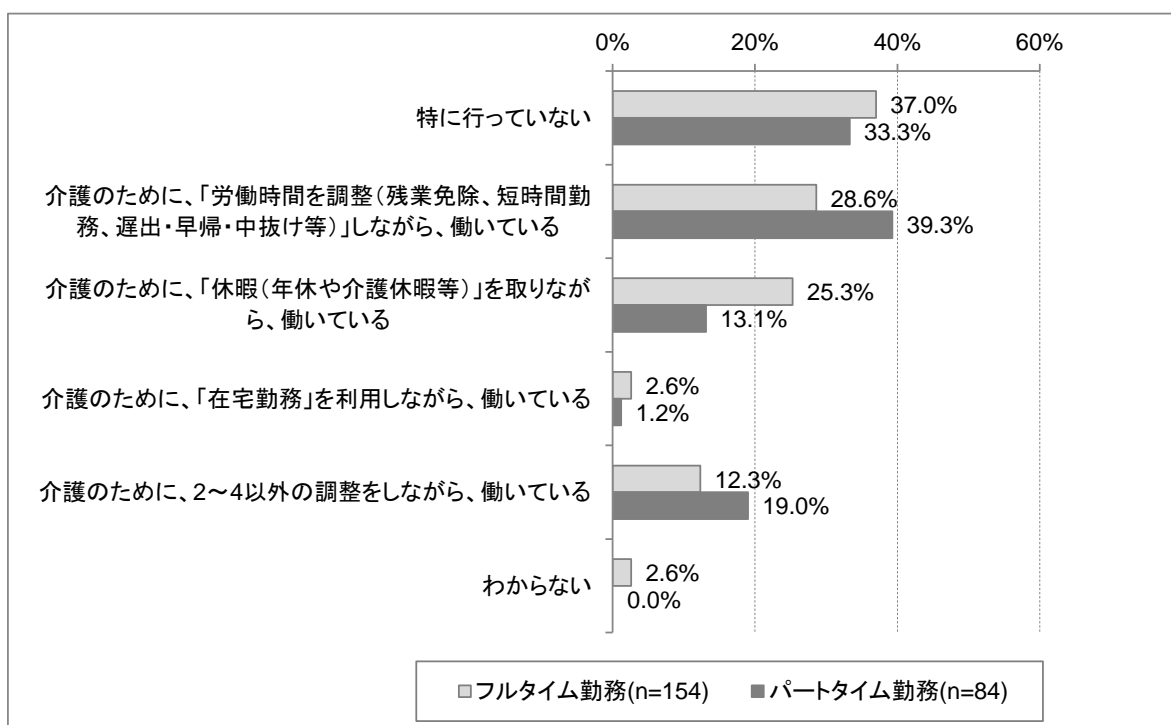
「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「検討していない」、「検討中」が44.4%と最も割合が高く、次いで「申請済み」が11.1%となっている。



(6) 就労状況別の介護のための働き方の調整と効果的な勤め先からの支援

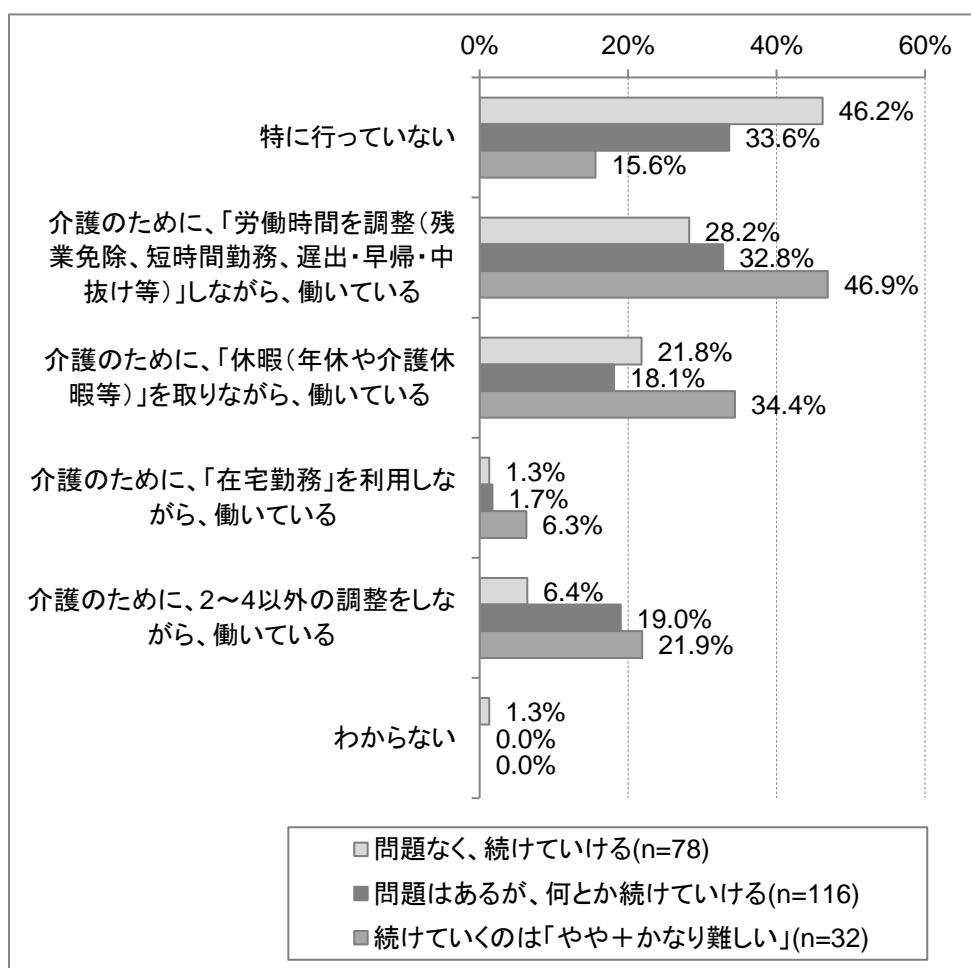
①就労状況別・介護のための働き方の調整

介護者の働き方の調整の状況を介護者の勤務形態別にみると、「フルタイム勤務」では「特に行っていない」が37.0%と最も割合が高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が28.6%、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が25.3%となっている。「パートタイム勤務」では「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が39.3%と最も割合が高く、次いで「特に行っていない」が33.3%、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」が19.0%となっている。



②就労継続見込み別・介護のための働き方の調整(フルタイム勤務+パートタイム勤務)

介護者の働き方の調整の状況を介護者の就労継続の可否に係る意識別にみると、「問題なく、続けていける」では「特に行っていない」が46.2%と最も割合が高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が28.2%、「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」が21.8%となっている。「問題はあるが、何とか続けていける」では「特に行っていない」が33.6%と最も割合が高く、次いで「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が32.8%、「介護のために、2~4以外の調整をしながら、働いている」が19.0%となっている。「続けていくのは「やや+かなり難しい」」では「介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている」が46.9%と最も割合が高く、次いで「介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている」が34.4%、「介護のために、2~4以外の調整をしながら、働いている」が21.9%となっている。

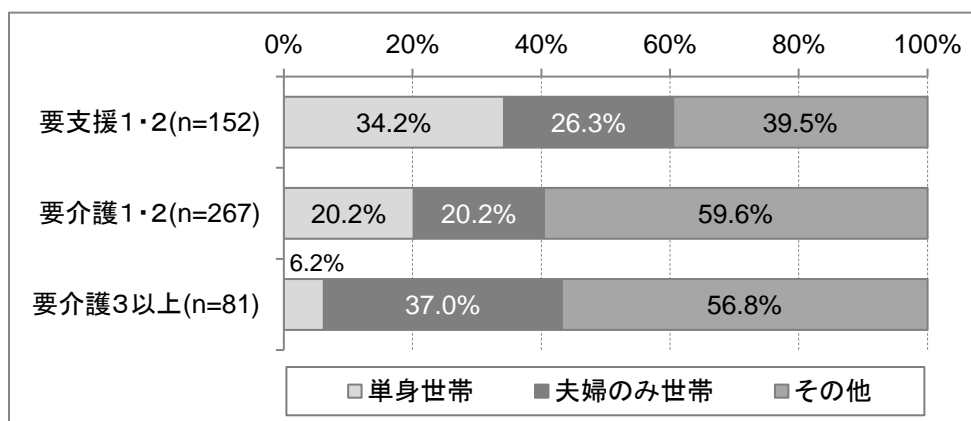


3 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

(1) 基礎集計

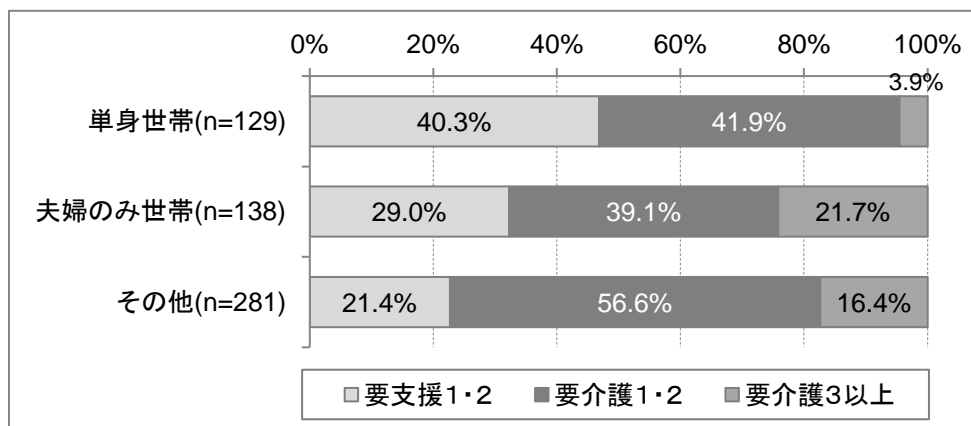
①要介護度別・世帯類型

世帯類型を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「その他」が39.5%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」が34.2%、「夫婦のみ世帯」が26.3%となっている。「要介護1・2」では「その他」が59.6%と最も割合が高く、次いで「単身世帯」、「夫婦のみ世帯」が20.2%となっている。「要介護3以上」では「その他」が56.8%と最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が37.0%、「単身世帯」が6.2%となっている。



②世帯類型別・要介護度

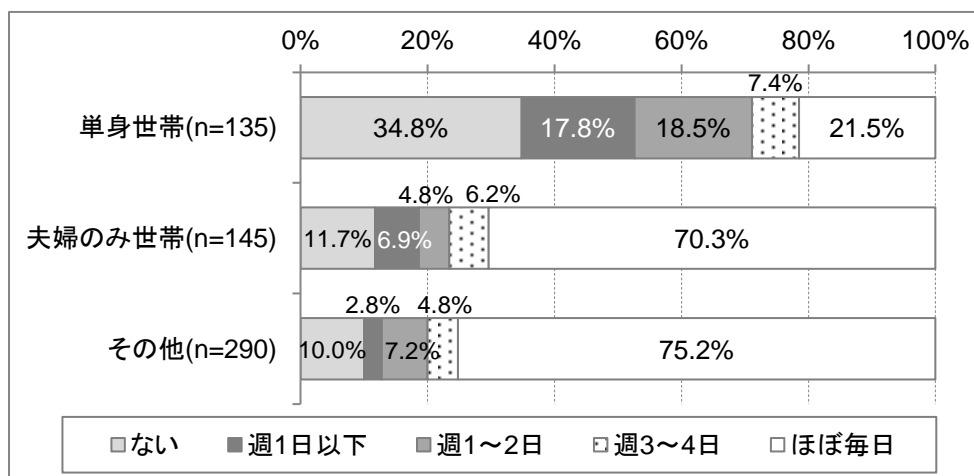
二次判定結果を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「要介護1・2」が41.9%と最も割合が高く、次いで「要支援1・2」が40.3%、「要介護3以上」が3.9%となっている。「夫婦のみ世帯」では「要介護1・2」が39.1%と最も割合が高く、次いで「要支援1・2」が29.0%、「要介護3以上」が21.7%となっている。「その他」では「要介護1・2」が56.6%と最も割合が高く、次いで「要支援1・2」が21.4%、「要介護3以上」が16.4%となっている。



(2) 「要介護度別・世帯類型別」の「家族等による介護の頻度」

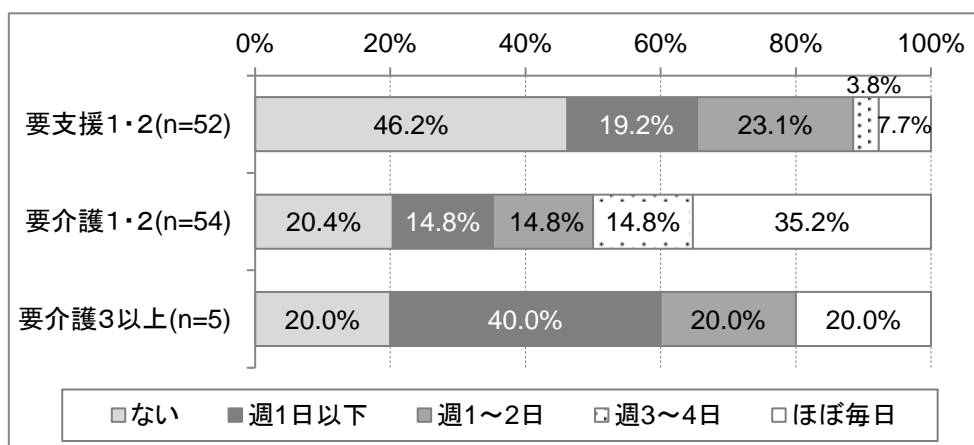
①世帯類型別・家族等による介護の頻度

ご家族等の介護の頻度を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「ない」が34.8%と最も割合が高く、次いで「ほぼ毎日」が21.5%、「週1～2日」が18.5%となっている。「夫婦のみ世帯」では「ほぼ毎日」が70.3%と最も割合が高く、次いで「ない」が11.7%、「週1日以下」が6.9%となっている。「その他」では「ほぼ毎日」が75.2%と最も割合が高く、次いで「ない」が10.0%、「週1～2日」が7.2%となっている。



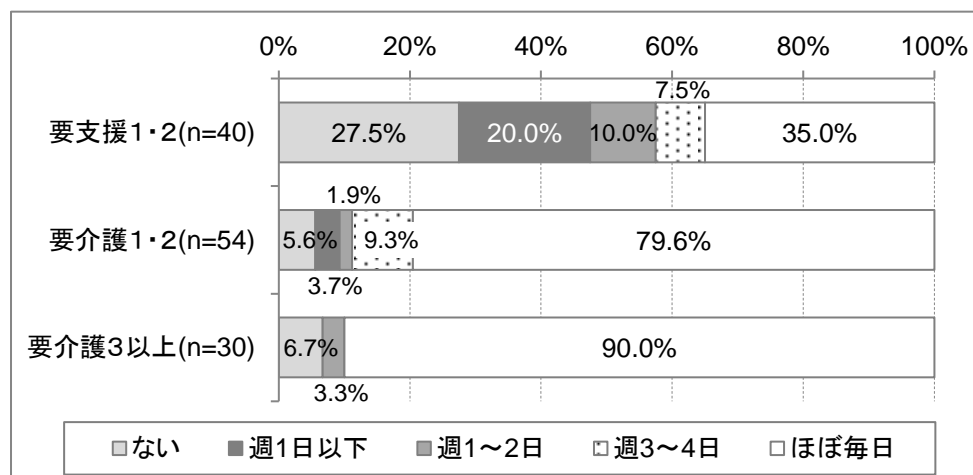
②要介護度別・家族等による介護の頻度(単身世帯)

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「ない」が46.2%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」が23.1%、「週1日以下」が19.2%となっている。「要介護1・2」では「ほぼ毎日」が35.2%と最も割合が高く、次いで「ない」が20.4%、「週1日以下」、「週1～2日」、「週3～4日」が14.8%となっている。「要介護3以上」では「週1日以下」が40.0%と最も割合が高く、次いで「ない」、「週1～2日」、「ほぼ毎日」が20.0%となっている。



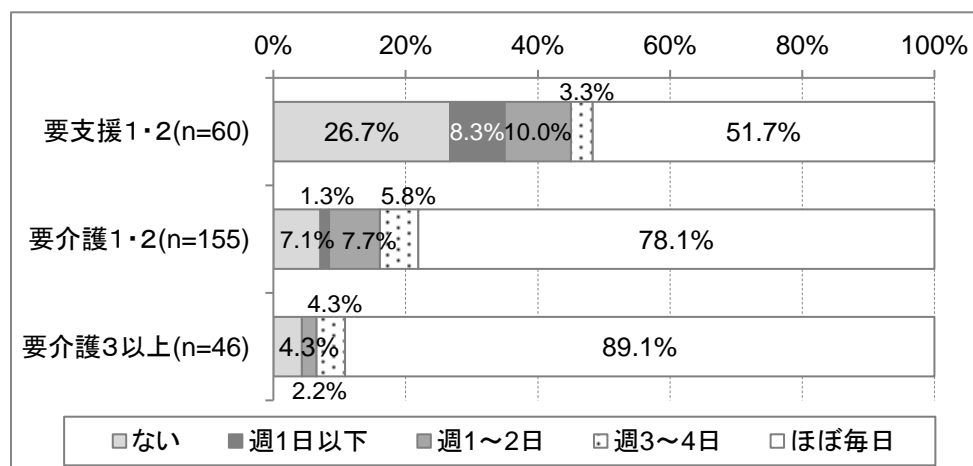
③要介護度別・家族等による介護の頻度(夫婦のみ世帯)

ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「ほぼ毎日」が35.0%と最も割合が高く、次いで「ない」が27.5%、「週1日以下」が20.0%となっている。「要介護1・2」では「ほぼ毎日」が79.6%と最も割合が高く、次いで「週3～4日」が9.3%、「ない」が5.6%となっている。「要介護3以上」では「ほぼ毎日」が90.0%と最も割合が高く、次いで「ない」が6.7%、「週1～2日」が3.3%となっている。



④要介護度別・家族等による介護の頻度(その他世帯)

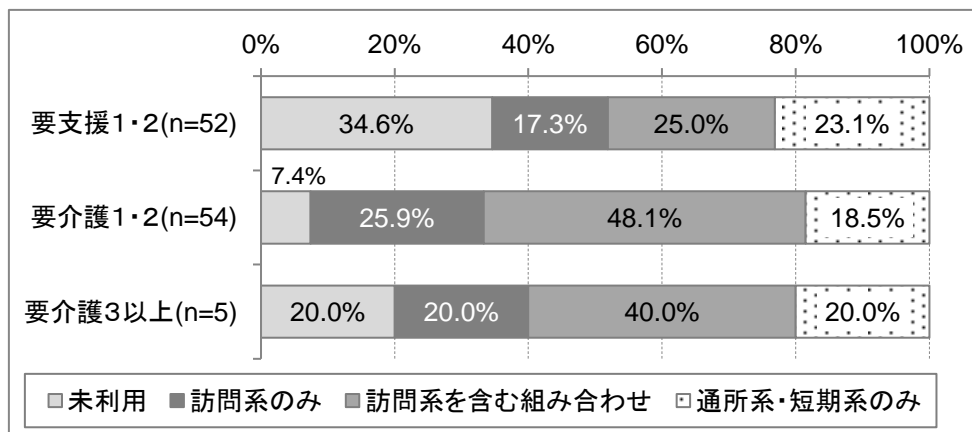
ご家族等の介護の頻度を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「ほぼ毎日」が51.7%と最も割合が高く、次いで「ない」が26.7%、「週1～2日」が10.0%となっている。「要介護1・2」では「ほぼ毎日」が78.1%と最も割合が高く、次いで「週1～2日」が7.7%、「ない」が7.1%となっている。「要介護3以上」では「ほぼ毎日」が89.1%と最も割合が高く、次いで「ない」、「週3～4日」が4.3%、「週1～2日」が2.2%となっている。



(3) 「要介護度別・認知症高齢者自立度別」の「世帯類型別のサービス利用の組み合わせ」

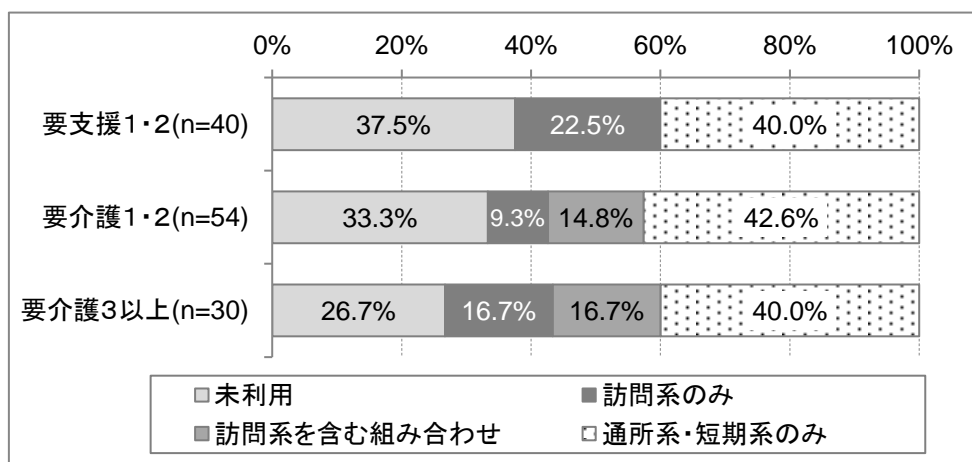
①要介護度別・サービス利用の組み合わせ(単身世帯)

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「未利用」が34.6%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が25.0%、「通所系・短期系のみ」が23.1%となっている。「要介護1・2」では「訪問系を含む組み合わせ」が48.1%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」が25.9%、「通所系・短期系のみ」が18.5%となっている。「要介護3以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が40.0%と最も割合が高く、次いで「未利用」、「訪問系のみ」、「通所系・短期系のみ」が20.0%となっている。



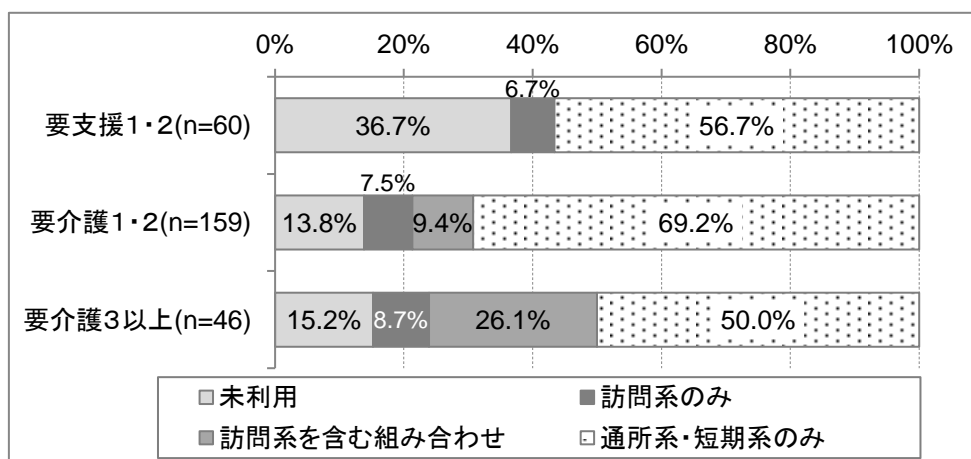
②要介護度別・サービス利用の組み合わせ(夫婦のみ世帯)

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「通所系・短期系のみ」が40.0%と最も割合が高く、次いで「未利用」が37.5%、「訪問系のみ」が22.5%となっている。「要介護1・2」では「通所系・短期系のみ」が42.6%と最も割合が高く、次いで「未利用」が33.3%、「訪問系を含む組み合わせ」が14.8%となっている。「要介護3以上」では「通所系・短期系のみ」が40.0%と最も割合が高く、次いで「未利用」が26.7%、「訪問系のみ」、「訪問系を含む組み合わせ」が16.7%となっている。



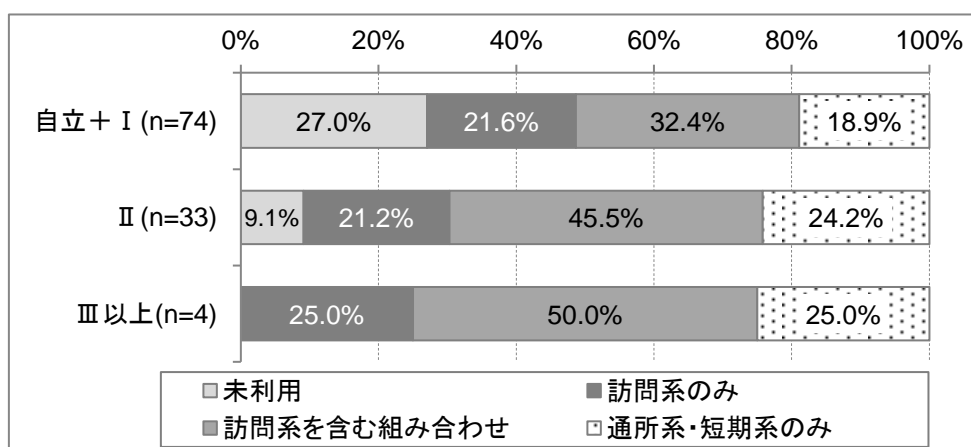
③要介護度別・サービス利用の組み合わせ(その他世帯)

サービス利用の組み合わせを二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「通所系・短期系のみ」が56.7%と最も割合が高く、次いで「未利用」が36.7%、「訪問系のみ」が6.7%となっている。「要介護1・2」では「通所系・短期系のみ」が69.2%と最も割合が高く、次いで「未利用」が13.8%、「訪問系を含む組み合わせ」が9.4%となっている。「要介護3以上」では「通所系・短期系のみ」が50.0%と最も割合が高く、次いで「訪問系を含む組み合わせ」が26.1%、「未利用」が15.2%となっている。



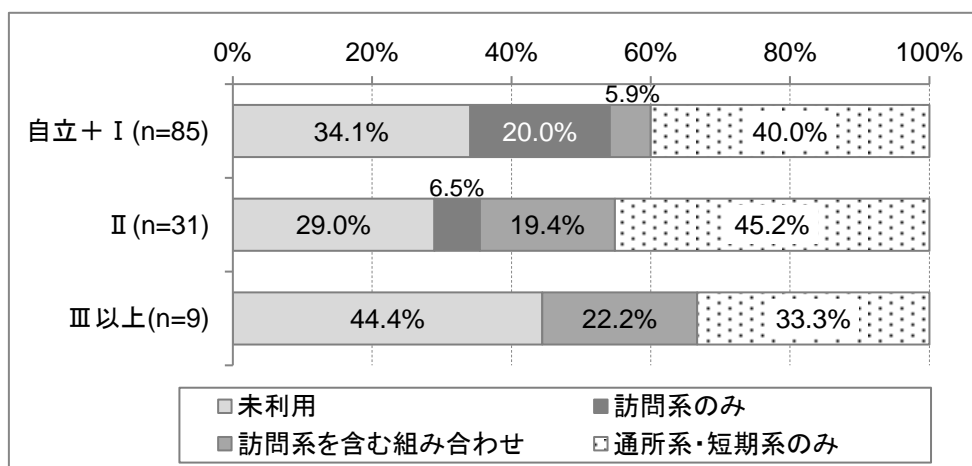
④認知症高齢者自立度別・サービス利用の組み合わせ(単身世帯)

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立+Ⅰ」では「訪問系を含む組み合わせ」が32.4%と最も割合が高く、次いで「未利用」が27.0%、「訪問系のみ」が21.6%となっている。「Ⅱ」では「訪問系を含む組み合わせ」が45.5%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が24.2%、「訪問系のみ」が21.2%となっている。「Ⅲ以上」では「訪問系を含む組み合わせ」が50.0%と最も割合が高く、次いで「訪問系のみ」、「通所系・短期系のみ」が25.0%となっている。



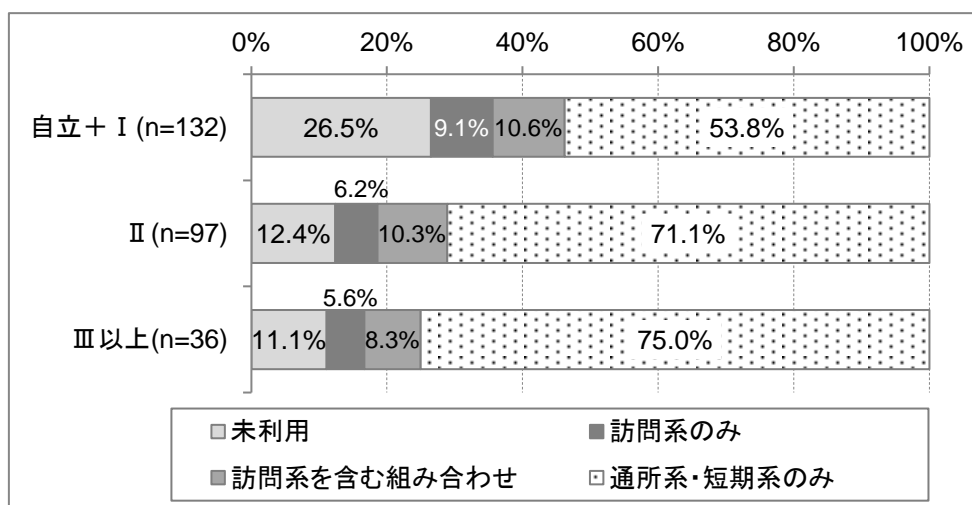
⑤認知症高齢者自立度別・サービス利用の組み合わせ(夫婦のみ世帯)

サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立+ I」では「通所系・短期系のみ」が40.0%と最も割合が高く、次いで「未利用」が34.1%、「訪問系のみ」が20.0%となっている。「II」では「通所系・短期系のみ」が45.2%と最も割合が高く、次いで「未利用」が29.0%、「訪問系を含む組み合わせ」が19.4%となっている。「III以上」では「未利用」が44.4%と最も割合が高く、次いで「通所系・短期系のみ」が33.3%、「訪問系を含む組み合わせ」が22.2%となっている。



⑥認知症高齢者自立度別・サービス利用の組み合わせ(その他世帯)

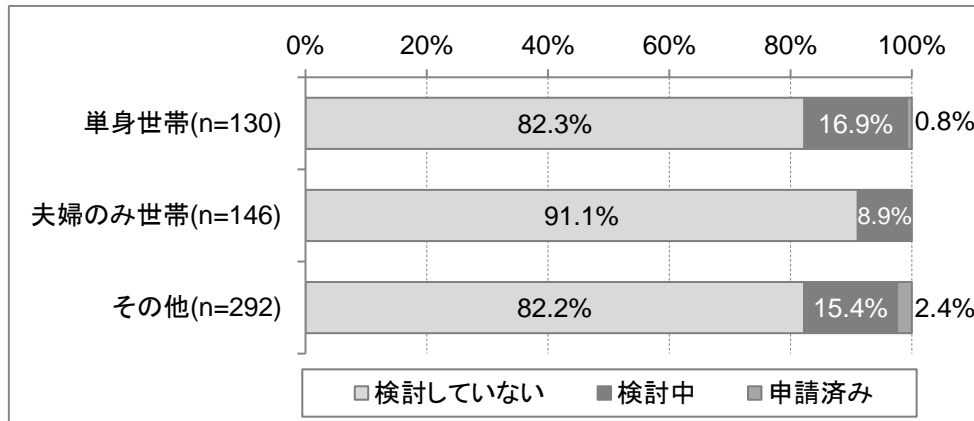
サービス利用の組み合わせを認知症高齢者自立度別にみると、「自立+ I」では「通所系・短期系のみ」が53.8%と最も割合が高く、次いで「未利用」が26.5%、「訪問系を含む組み合わせ」が10.6%となっている。「II」では「通所系・短期系のみ」が71.1%と最も割合が高く、次いで「未利用」が12.4%、「訪問系を含む組み合わせ」が10.3%となっている。「III以上」では「通所系・短期系のみ」が75.0%と最も割合が高く、次いで「未利用」が11.1%、「訪問系を含む組み合わせ」が8.3%となっている。



(4) 「要介護度別・認知症高齢者自立度別」の「世帯類型別の施設等検討の状況」

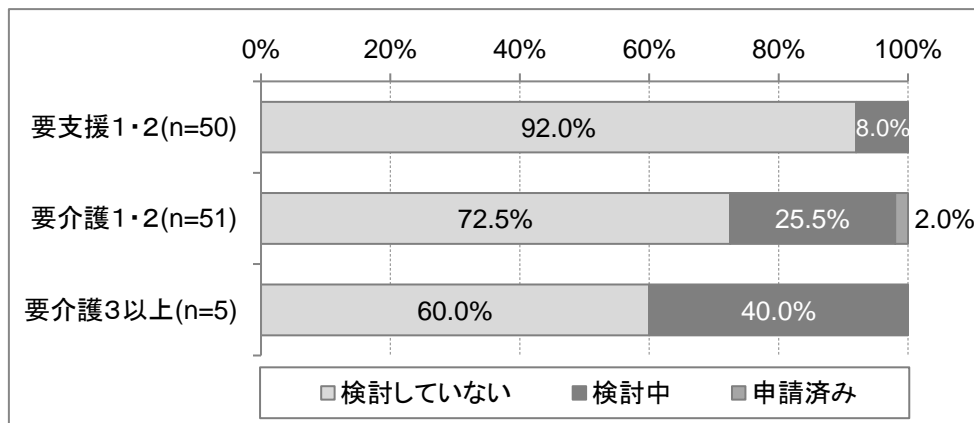
①世帯類型別・施設等検討の状況(全要介護度)

施設等の検討状況を世帯類型別にみると、「単身世帯」では「検討していない」が82.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が16.9%、「申請済み」が0.8%となっている。「夫婦のみ世帯」では「検討していない」が91.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」が8.9%となっている。「その他」では「検討していない」が82.2%と最も割合が高く、次いで「検討中」が15.4%、「申請済み」が2.4%となっている。



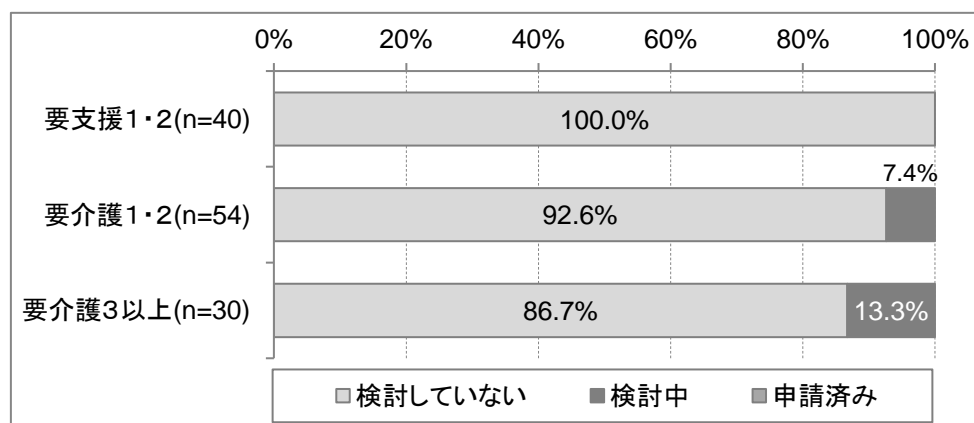
②要介護度別・施設等検討の状況(単身世帯)

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が92.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が8.0%となっている。「要介護1・2」では「検討していない」が72.5%と最も割合が高く、次いで「検討中」が25.5%、「申請済み」が2.0%となっている。「要介護3以上」では「検討していない」が60.0%と最も割合が高く、次いで「検討中」が40.0%となっている。



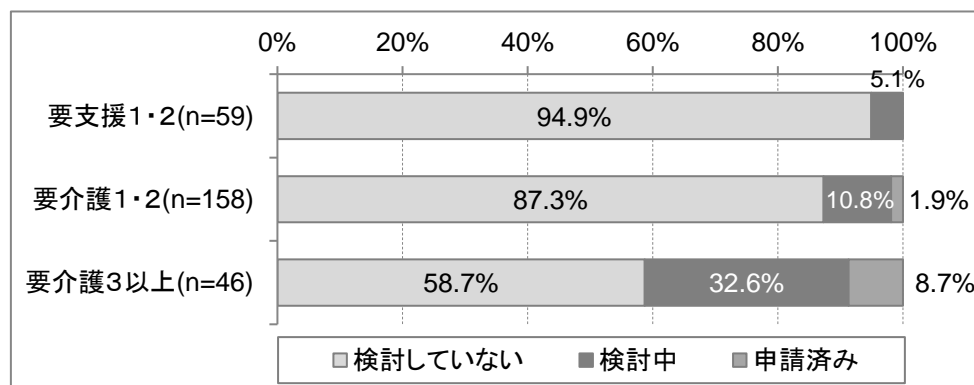
③要介護度別・施設等検討の状況(夫婦のみ世帯)

施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が100.0%となっている。「要介護1・2」では「検討していない」が92.6%と最も割合が高く、次いで「検討中」が7.4%となっている。「要介護3以上」では「検討していない」が86.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が13.3%となっている。



④要介護度別・施設等検討の状況(その他世帯)

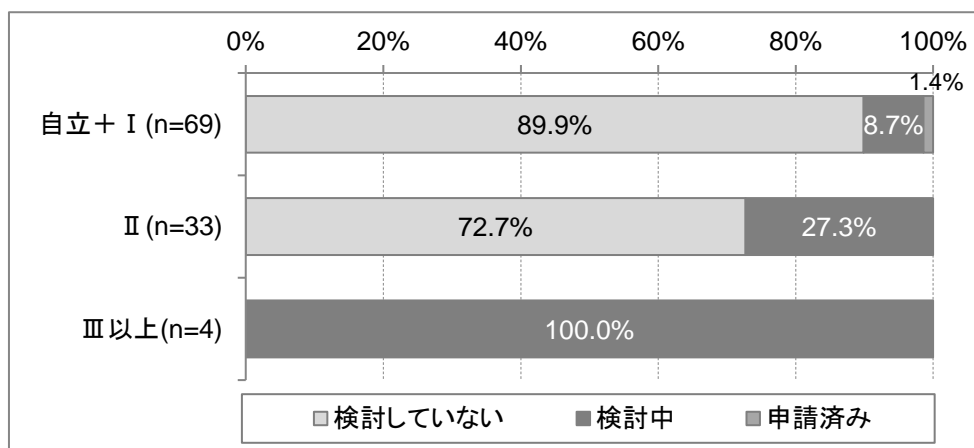
施設等の検討状況を二次判定結果別にみると、「要支援1・2」では「検討していない」が94.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が5.1%となっている。「要介護1・2」では「検討していない」が87.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が10.8%、「申請済み」が1.9%となっている。「要介護3以上」では「検討していない」が58.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が32.6%、「申請済み」が8.7%となっている。



⑤認知症高齢者自立度別・施設等検討の状況(単身世帯)

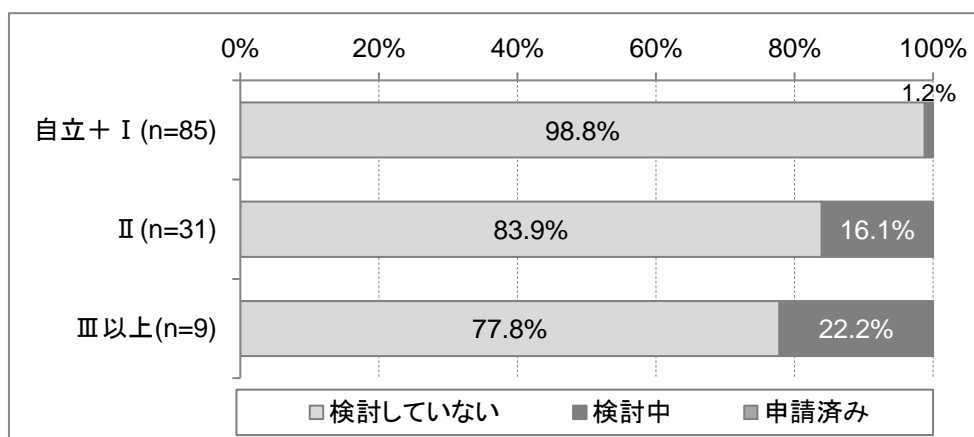
施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+ I」では「検討していない」が 89.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 8.7%、「申請済み」が 1.4%となっている。

「II」では「検討していない」が 72.7%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 27.3%となっている。「III以上」では「検討中」が 100.0%となっている。



⑥認知症高齢者自立度別・施設等検討の状況(夫婦のみ世帯)

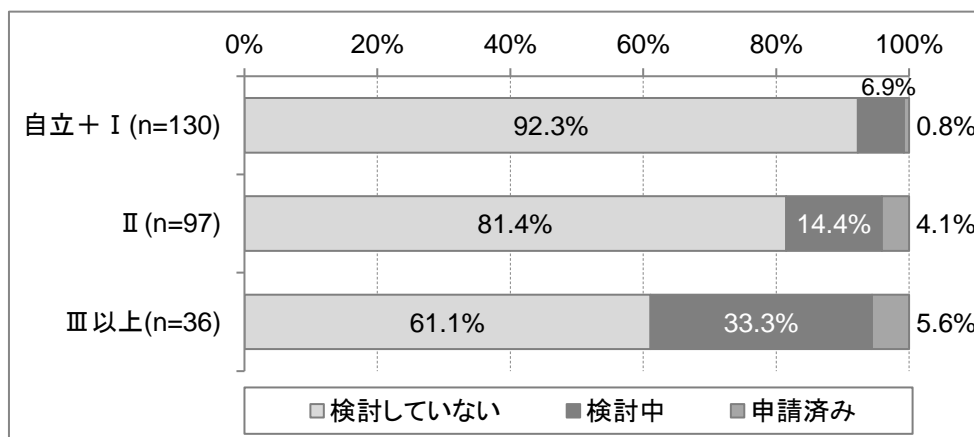
施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+ I」では「検討していない」が 98.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 1.2%となっている。「II」では「検討していない」が 83.9%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 16.1%となっている。「III以上」では「検討していない」が 77.8%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 22.2%となっている。



⑦認知症高齢者自立度別・施設等検討の状況(その他の世帯)

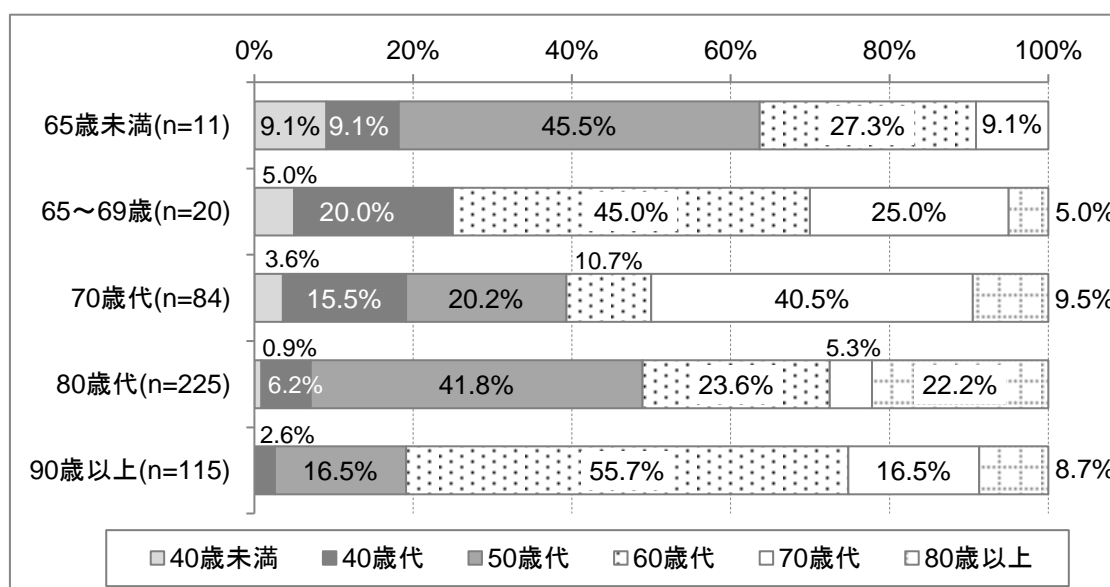
施設等の検討状況を認知症高齢者自立度別にみると、「自立+ I」では「検討していない」が 92.3%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 6.9%、「申請済み」が 0.8%となっている。

「II」では「検討していない」が 81.4%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 14.4%、「申請済み」が 4.1%となっている。「III以上」では「検討していない」が 61.1%と最も割合が高く、次いで「検討中」が 33.3%、「申請済み」が 5.6%となっている。



4 本人の年齢別・主な介護者の年齢

介護者の年齢を本人年齢別にみると、「65歳未満」では「50歳代」が 45.5%と最も割合が高く、次いで「60歳代」が 27.3%、「40歳未満」、「40歳代」、「70歳代」が 9.1%となっている。「65～69歳」では「60歳代」が 45.0%と最も割合が高く、次いで「70歳代」が 25.0%、「40歳代」が 20.0%となっている。「70歳代」では「70歳代」が 40.5%と最も割合が高く、次いで「50歳代」が 20.2%、「40歳代」が 15.5%となっている。「80歳代」では「50歳代」が 41.8%と最も割合が高く、次いで「60歳代」が 23.6%、「80歳以上」が 22.2%となっている。「90歳以上」では「60歳代」が 55.7%と最も割合が高く、次いで「50歳代」、「70歳代」が 16.5%、「80歳以上」が 8.7%となっている。



IV 調査票

在宅介護実態調査 調査票

A 票

被保険者番号(_____)

【A 票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】(複数選択可)

1. 調査対象者本人
2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. 調査対象者のケアマネジャー
5. その他

問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ世帯
3. その他

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週どのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

1. ない
 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
 3. 週に1～2日ある
 4. 週に3～4日ある
 5. ほぼ毎日ある
- 問5を回答し、調査は終了です
- 問3～問5を回答し、日票へ

問3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

1. 20歳未満
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80歳以上
9. わからない

問4 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含まず。

● **ここから再び、全員に調査してください。**

問5 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

- 問2で「2.」～「5.」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いしてください。
- 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人(調査対象者の方)にご回答・ご記入をお願いしてください(ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です)。

B票

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|-----------------------|---|--------|
| 1. フルタイムで働いている | } | 問2～問4へ |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } | 問4へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つを選択)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問4 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. 日中の排せ | 2. 夜間の排せ |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、スーマ等) | |

〔生活援助〕

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等) | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き | |

〔その他〕

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。|

在宅介護実態調査の集計結果
～第9期介護保険事業計画の策定に向けて～

古河市 福祉部 高齢介護課

〒306-0221 茨城県古河市駒羽根 1501 番地「健康の駅」

Tel:0280-92-4921(高齢介護課)